

第3章 緑被調査

1 区全体の緑被の状況

練馬区全体の緑被面積および緑被率は次のとおりであった。

区の全体面積	緑被面積	緑被率
4,808 ha	1,086.7 ha	22.6 %

区全体の緑被等の推移を表3-1に、緑被等の内訳を図3-1、緑被面積の内訳と推移を図3-2に示す。

この5年間の推移をみると、緑被地の面積は、樹木地が41.1ha減少、草地在9.7ha減少、農地が22.0ha減少した。その結果、区全体の緑被率は1.5ポイント減少した。

表3-1 区全体の緑被等の推移

項目	平成23年		平成28年		令和3年		増減 (令和3年－平成28年)		
	面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (ポイント)	
植生被覆地	樹木地	844.25	17.5	808.53	16.8	767.38	16.0	-41.15	-0.8
	草地	120.70	2.6	125.62	2.6	115.94	2.4	-9.69	-0.2
	植生被覆地	964.95	20.1	934.16	19.4	883.32	18.4	-50.84	-1.0
	生産緑地	—	—	—	—	29.45	0.6	—	—
	特定生産緑地	—	—	—	—	144.64	3.0	—	—
	その他農地	—	—	—	—	29.34	0.6	—	—
	農地*	256.98	5.3	225.45	4.7	203.43	4.2	-22.02	-0.5
緑被地	1,221.92	25.4	1,159.60	24.1	1,086.75	22.6	-72.85	-1.5	
裸地	202.28	4.2	140.97	2.9	97.81	2.0	-43.15	-0.9	
水面	16.81	0.3	16.38	0.3	18.42	0.3	2.04	0.0	
自然面	1,441.01	29.9	1,316.94	27.3	1,202.98	25.0	-113.97	-2.3	
公園裸地	57.91	1.2	43.24	0.9	42.18	0.9	-1.07	0.0	
みどり率(緑被地+公園裸地+水面)	1,296.64	26.9	1,219.22	25.3	1,147.34	23.9	-71.88	-1.4	
区面積	4,816		4,808		4,808				

* 農地面積は、本調査の基準で算出しているため、練馬区統計書等の数値とは一致しない。

また、今回の調査では、前回調査の4区分(普通畑、果樹畑、苗木畑、芝畑)は行っていない。

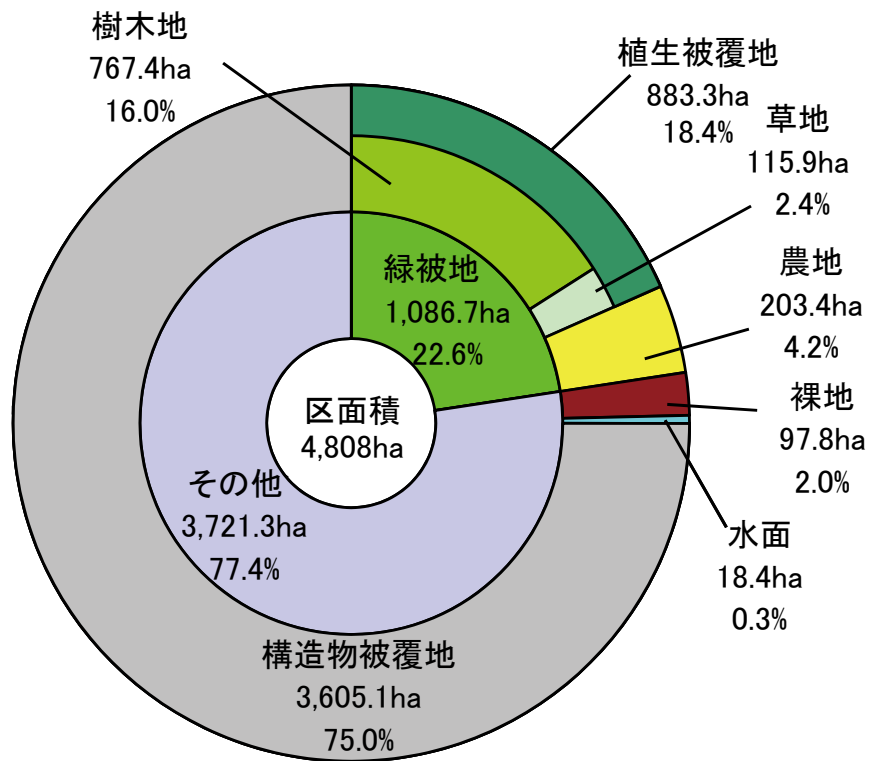


図3-1 緑被等の内訳

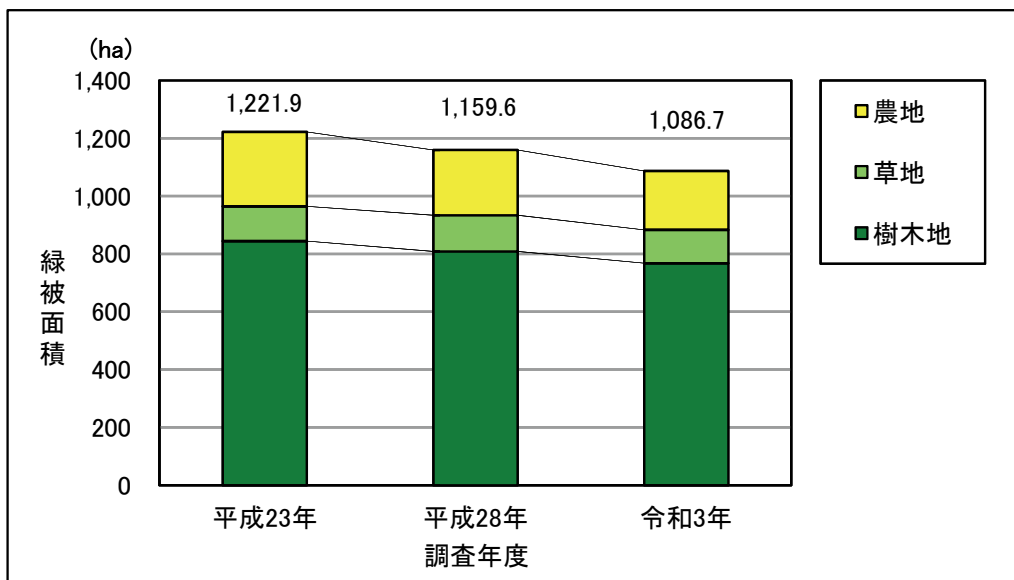


図3-2 緑被面積の内訳と推移

公民別緑被状況の内訳と推移を図3-3、図3-4、表3-2に示す。

この5年間の推移をみると、公共のみどりは5.0ha増加し、民有地のみどりが77.9ha減少した。

また、練馬区全体の空中写真を図3-5、緑被分布図を図3-6に示す。

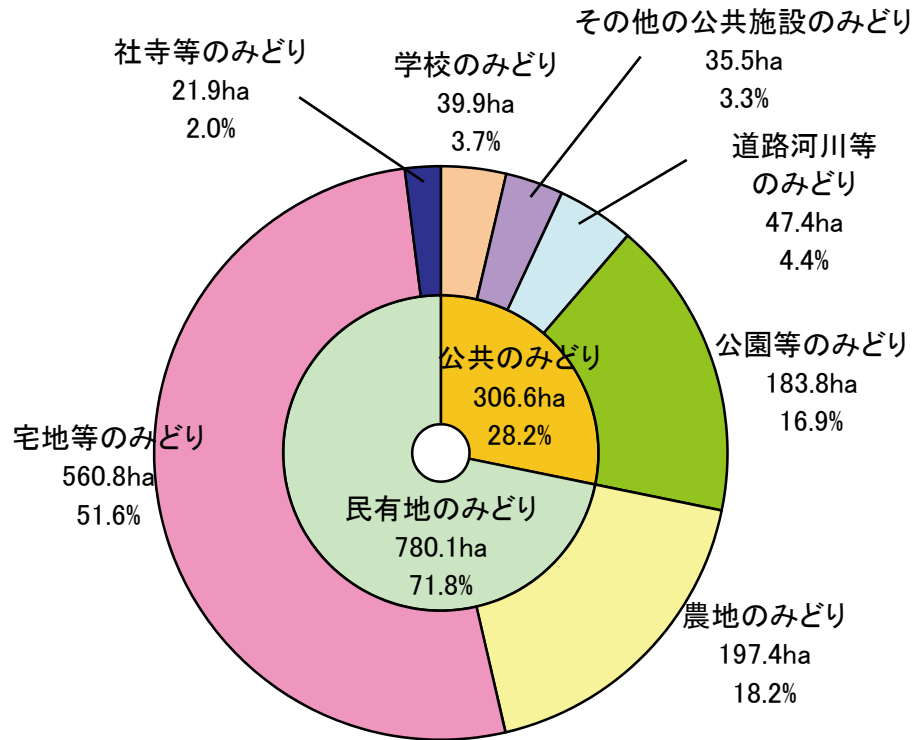


図3-3 公民別緑被状況の内訳

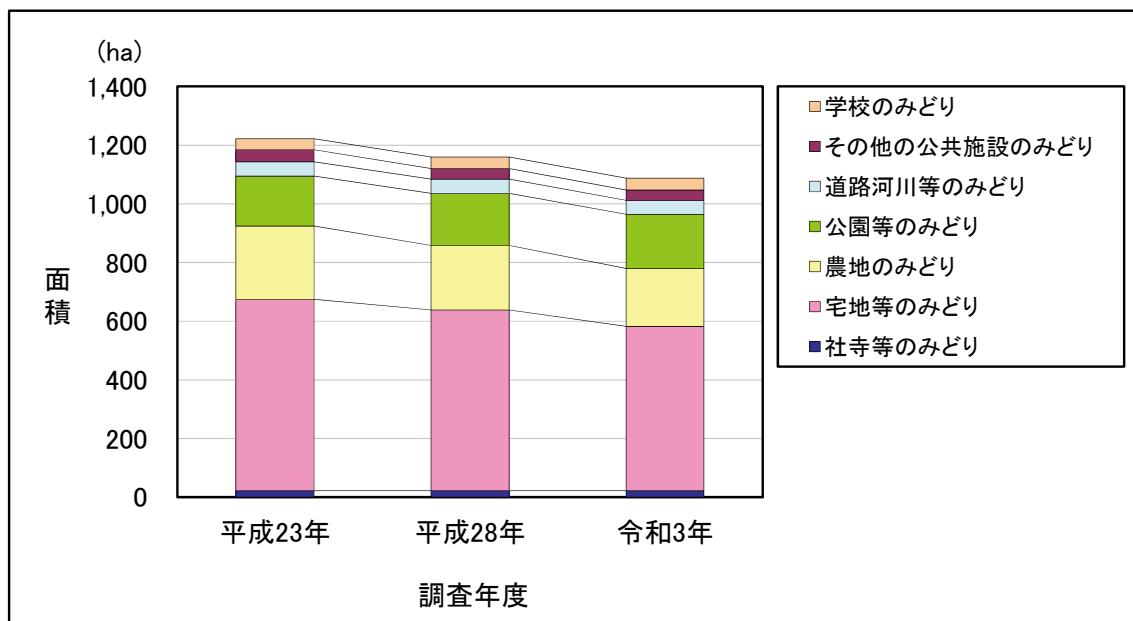


図3-4 公民別緑被状況の内訳と推移

表 3-2 公民別緑被状況の推移

名 称		平成23年		平成28年		令和3年		増減*	
		面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)
公共 のみどり	学校のみどり	37.98	3.1	39.22	3.4	39.89	3.7	0.66	0.3
	その他の公共施設のみどり	40.71	3.3	36.73	3.2	35.50	3.3	-1.23	0.1
	道路河川等のみどり	48.55	4.0	48.47	4.2	47.40	4.4	-1.06	0.2
	公園等のみどり	170.36	13.9	177.19	15.3	183.83	16.9	6.65	1.6
小 計		297.60	24.4	301.61	26.0	306.63	28.2	5.02	2.2
民有地 のみどり	農地のみどり	249.73	20.4	219.49	18.9	197.38	18.2	-22.10	-0.8
	宅地等のみどり	652.25	53.4	616.13	53.1	560.82	51.6	-55.31	-1.5
	社寺等のみどり	22.34	1.8	22.38	1.9	21.92	2.0	-0.46	0.1
小 計		924.33	75.6	857.99	74.0	780.12	71.8	-77.87	-2.2
区全体		1221.90	100.0	1159.60	100.0	1086.75	100.0	-72.85	0.0

* 増減は令和3年-平成28年の値。

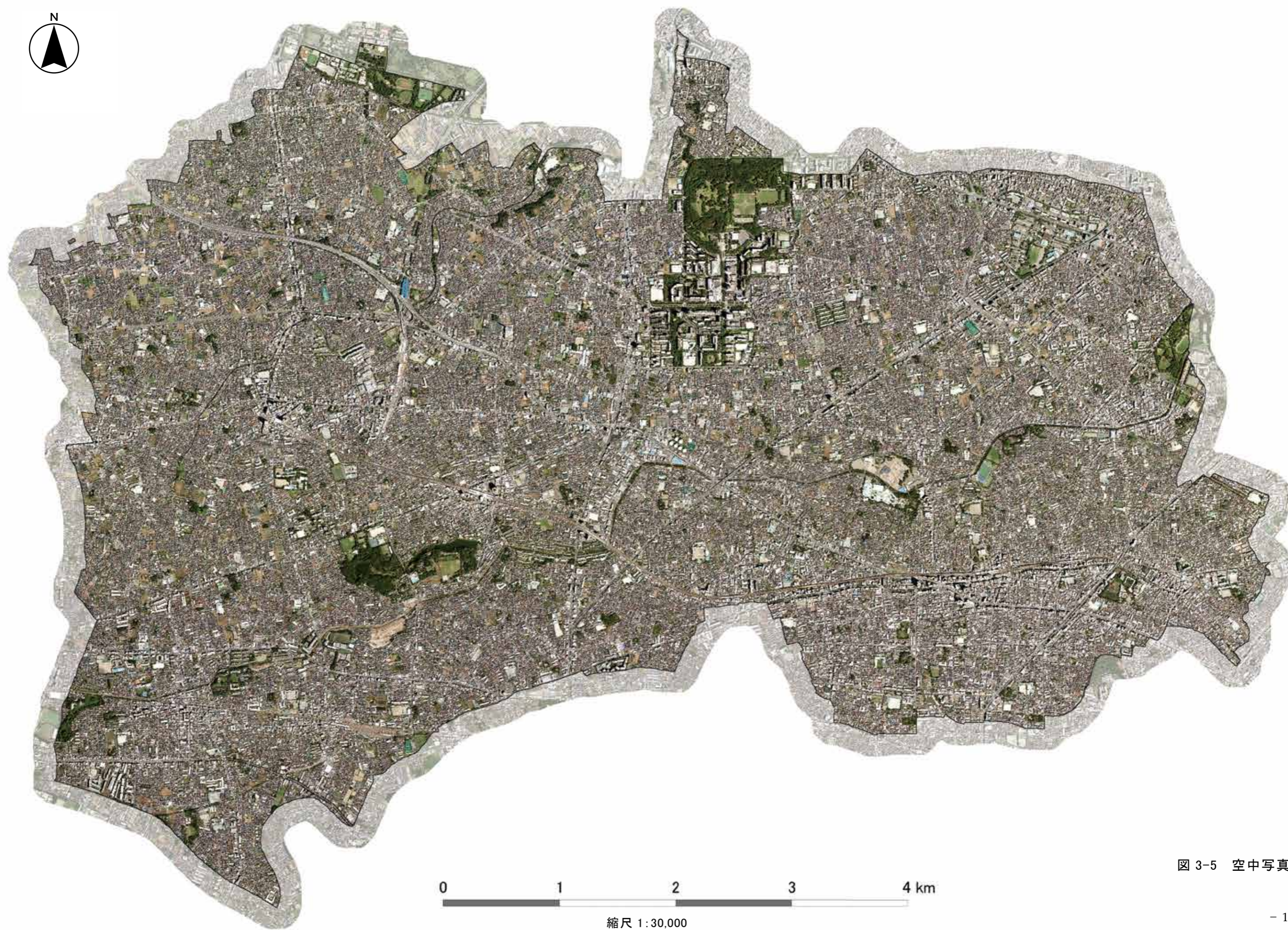


図 3-5 空中写真

縮尺 1:30,000

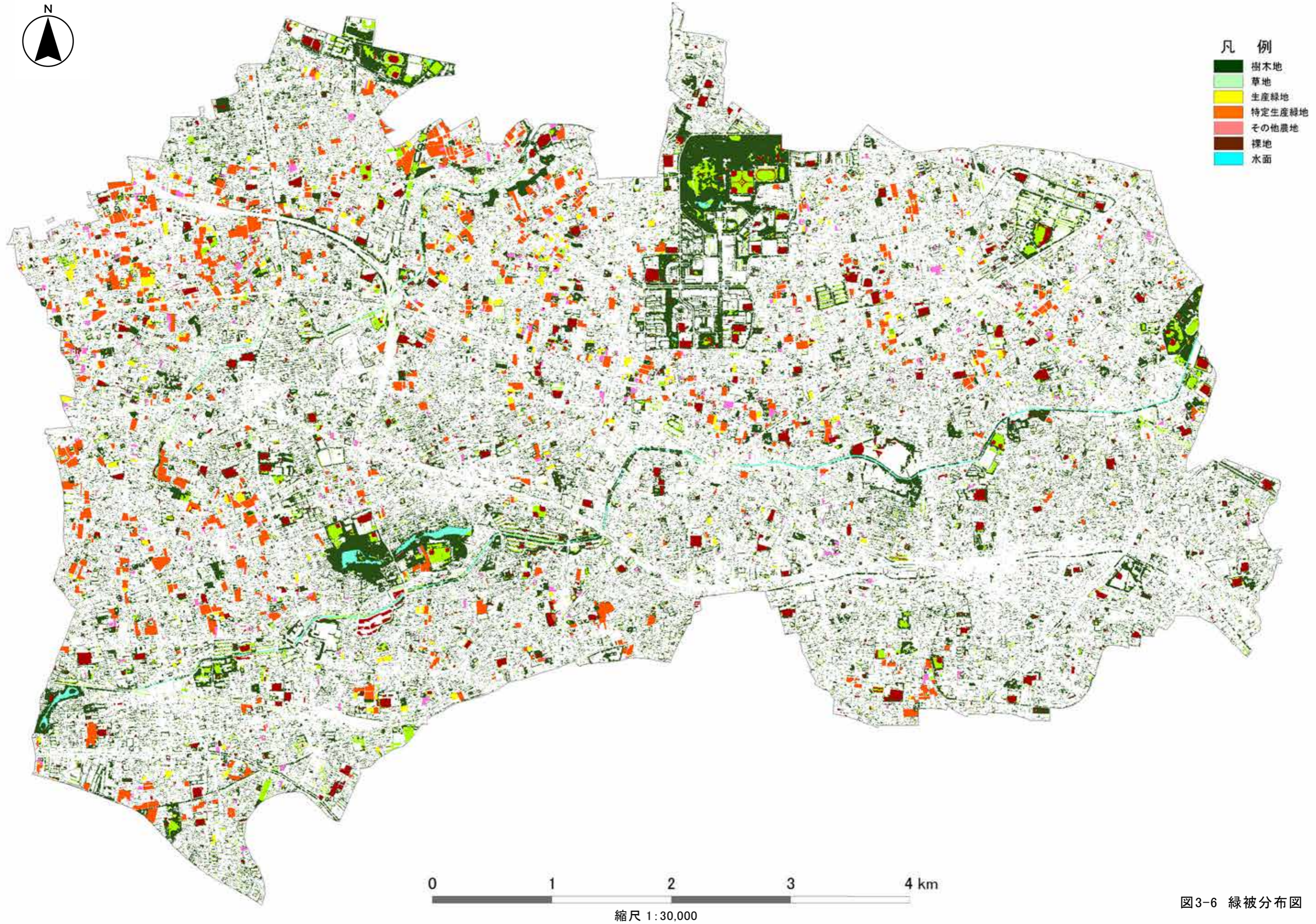
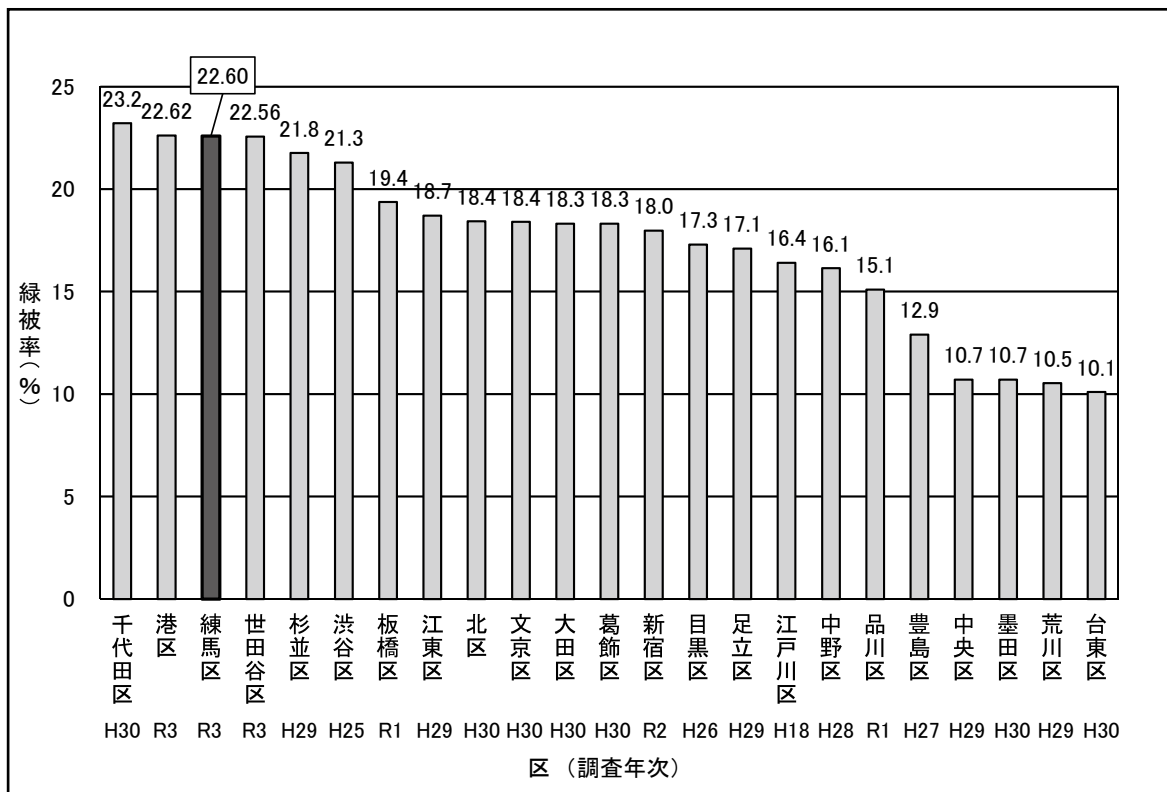


図3-6 緑被分布図

2 他区との比較

令和4年6月現在における東京都特別区(23区)の緑被率を図3-7に示す。練馬区の緑被率は、千代田区、港区に次ぐ第3位に位置している。

都心区では、皇居や日比谷公園といった大規模な緑地が担保されていることや、近年再開発事業等が進み、大規模な公開空地等が整備されていることから、高い緑被率となっていると推察される。



注：各区の調査年次・調査方法は異なる。

図3-7 23区の緑被率

3 地域別の緑被状況

(1) 町丁目別

町丁目別の緑被率を4階級に区分し、その分布を図3-8に示す(番号の町丁目は「資料編3 緑被集計表」を参照)。

全202町丁目のなかで、区全体の緑被率22.6%を超えるのは63町丁目、さらに緑被率が30%を超えるのは、表3-3に示す19町丁目である。

大規模な公園や農地が多い町丁目で高くなっている。

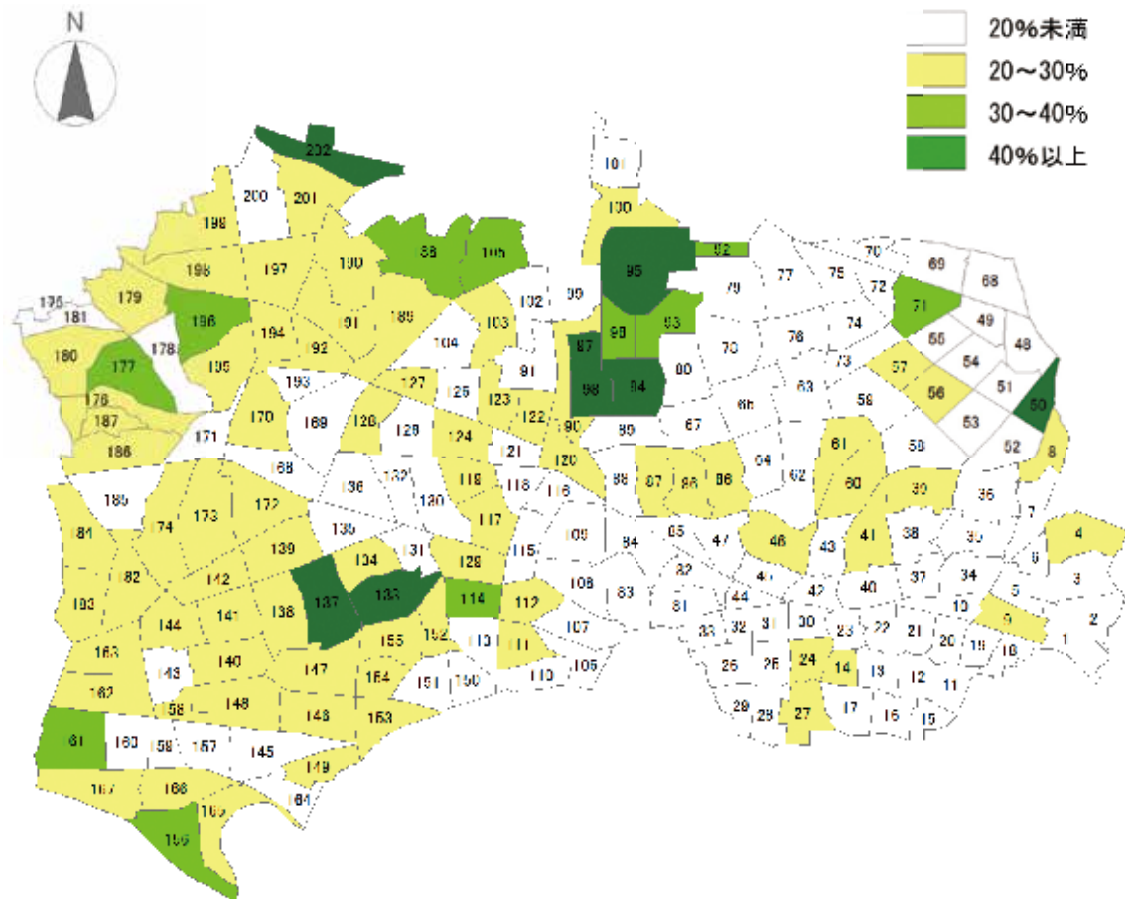


図3-8 町丁目別の緑被率

表3-3 緑被率30%以上の町丁目

番号	町丁目名	緑被率(%)	番号	町丁目名	緑被率(%)	番号	町丁目名	緑被率(%)
95	光が丘四丁目	83.2	94	光が丘三丁目	40.1	161	関町北三丁目	33.7
50	氷川台一丁目	75.0	71	北町四丁目	38.9	188	大泉町一丁目	33.0
202	大泉学園町九丁目	56.7	177	西大泉二丁目	38.5	92	光が丘一丁目	30.7
137	石神井台一丁目	53.5	96	光が丘五丁目	35.9	105	土支田四丁目	30.6
133	石神井町五丁目	50.0	93	光が丘二丁目	34.6	156	立野町	30.3
97	光が丘六丁目	43.8	114	南田中五丁目	34.4			
98	光が丘七丁目	42.5	196	大泉学園町三丁目	34.2			

町丁目別の樹木地率と農地率を図3-9、図3-10に示す。

樹木地率は、大規模な公園を有する町丁目以外はほぼ20%未満となっており、農地率は、区の北西部の町丁目で高い傾向となっている。

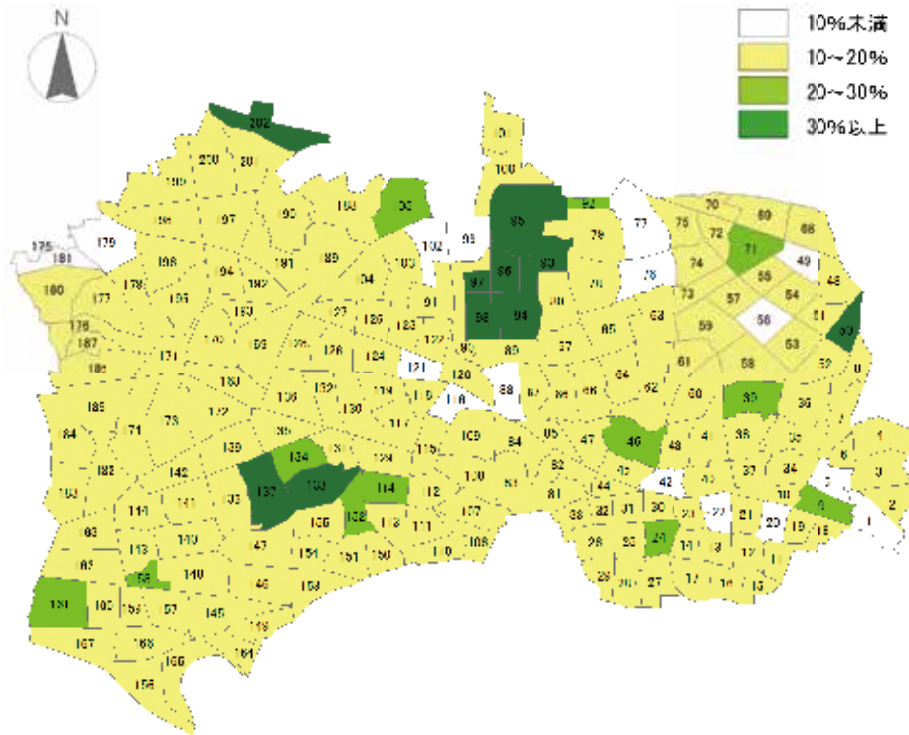


図3-9 町丁目別の樹木地率

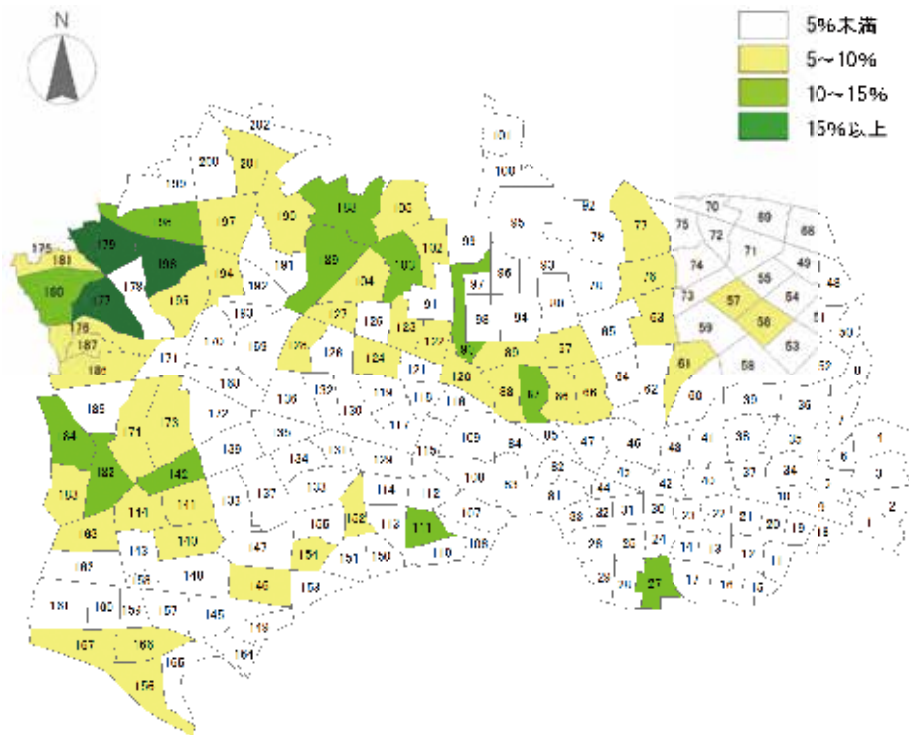


図3-10 町丁目別の農地率

緑被率の高い町丁目(上位20位)の緑被を樹木地、草地、農地に分けて図3-11に示す。また、緑被を公共、民有地に分けて図3-12に示す。緑被率の高い町丁目では、緑被の多くを樹木地もしくは農地が占めている。

そのなかでも樹木地と草地が緑被の主たる構成となっている町丁目では、大規模な公園など、公共の緑被の割合が高いところが多い。

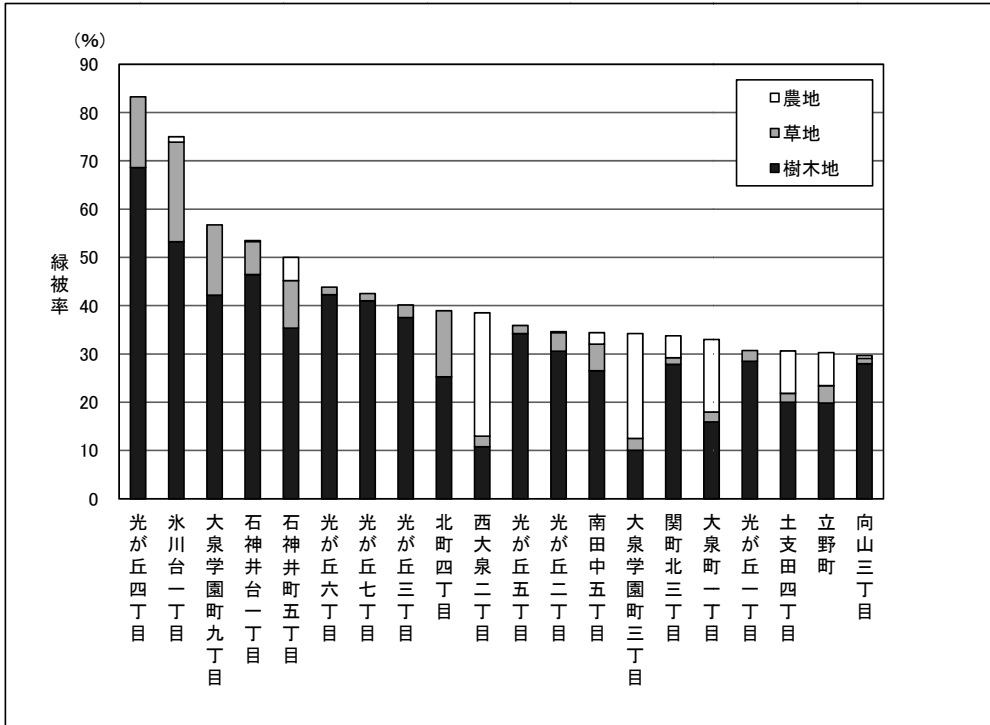


図3-11 緑被率の高い町丁目の緑被構成

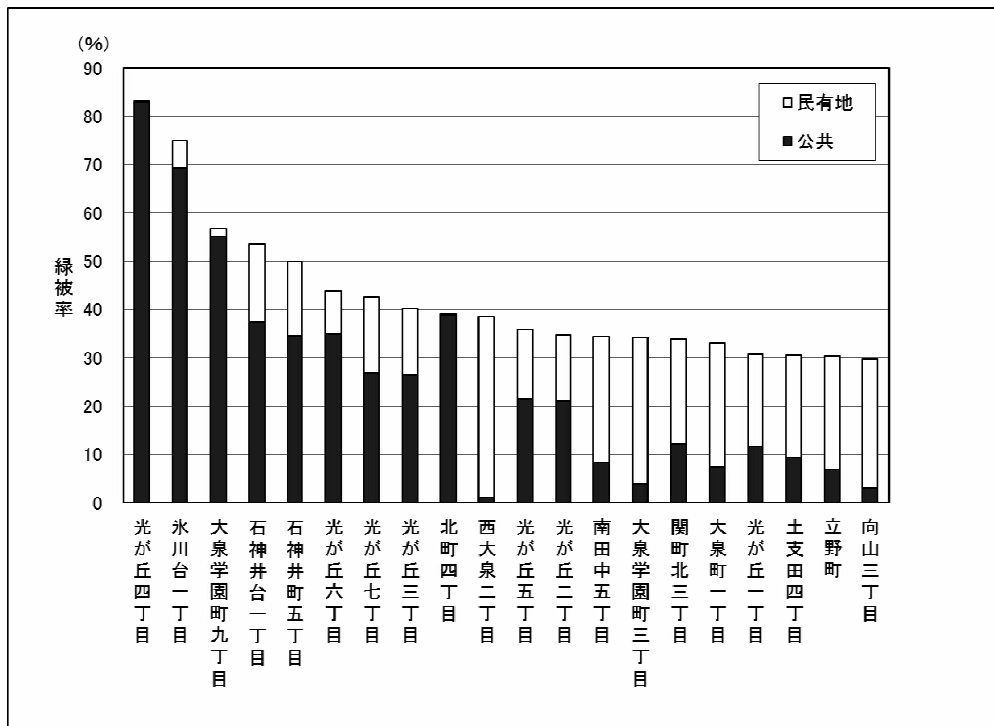


図3-12 緑被率の高い町丁目の緑被内訳(公共・民有地別)

緑被率の低い町丁目(下位20位)の緑被を樹木地、草地、農地に分けて図3-13に示す。また、その緑被を公共、民有地に分けて図3-14に示す。緑被率の低い町丁目では農地がほとんどなく、主に樹木地が占めている。また、公共の緑被の割合が低いところが多い。

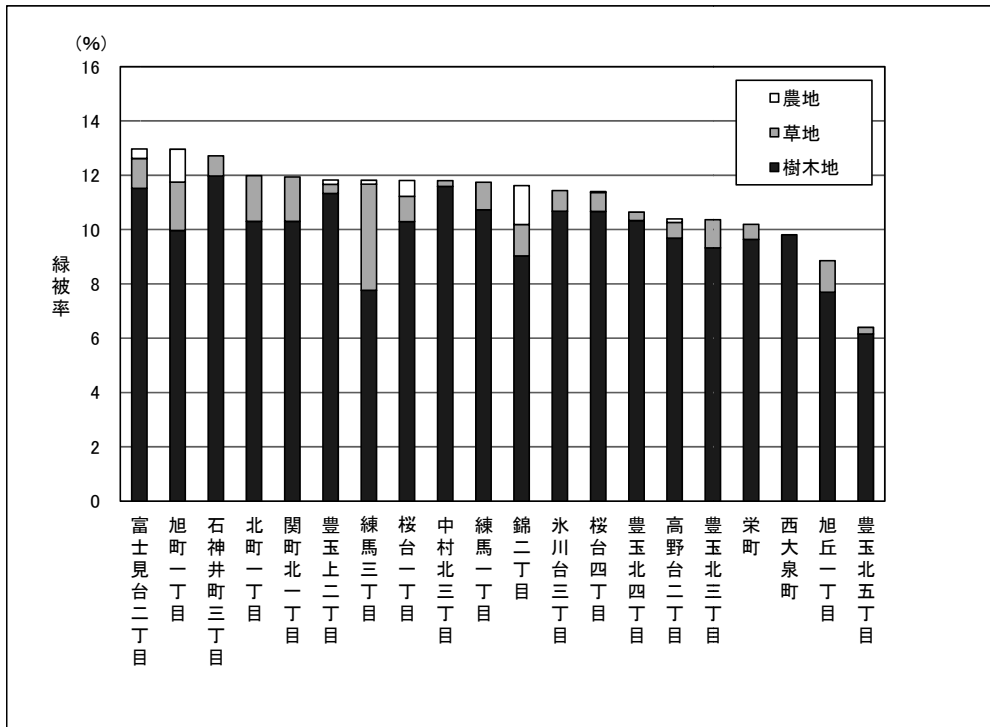


図3-13 緑被率の低い町丁目の緑被構成

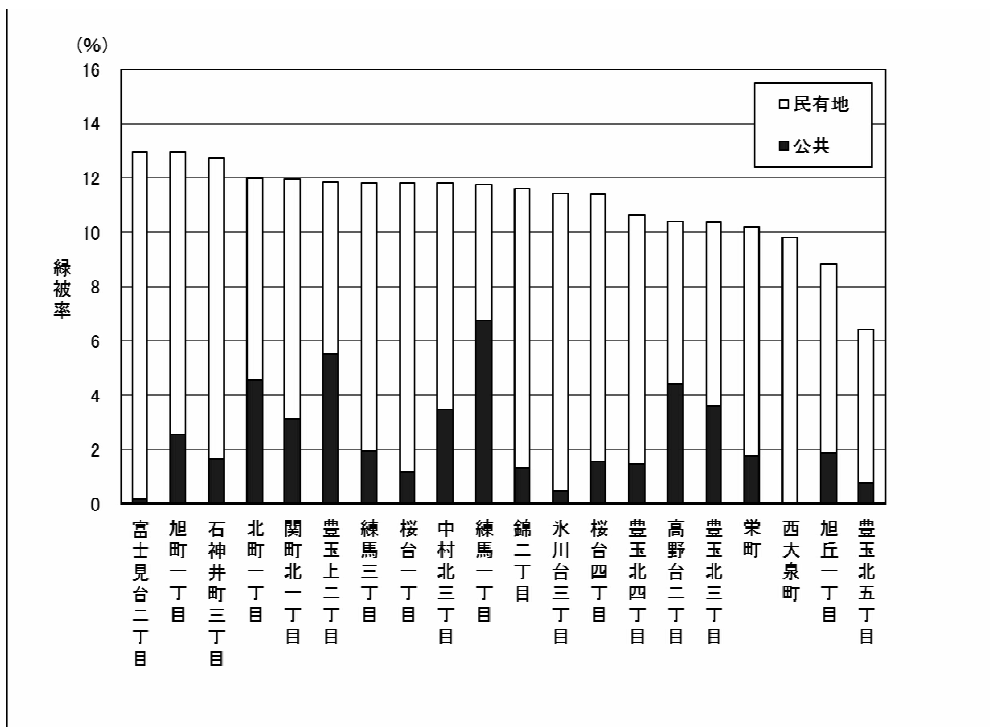


図3-14 緑被率の低い町丁目の緑被内訳(公共・民有地別)

(2) 都市計画マスタープランの地域別

都市計画マスタープランにおける7つの地域と緑被率を図3-15に示す。

また、地域別の緑被状況を表3-4、図3-16、図3-17にそれぞれ示す。

第4地域では、光が丘公園を始めとする公園のみどりが、高い緑被率(39.4%)に貢献している。第5地域は、農地の比率が最も高い。農地率が1%未満の第2地域の緑被率(16.5%)が最も低くなっている。

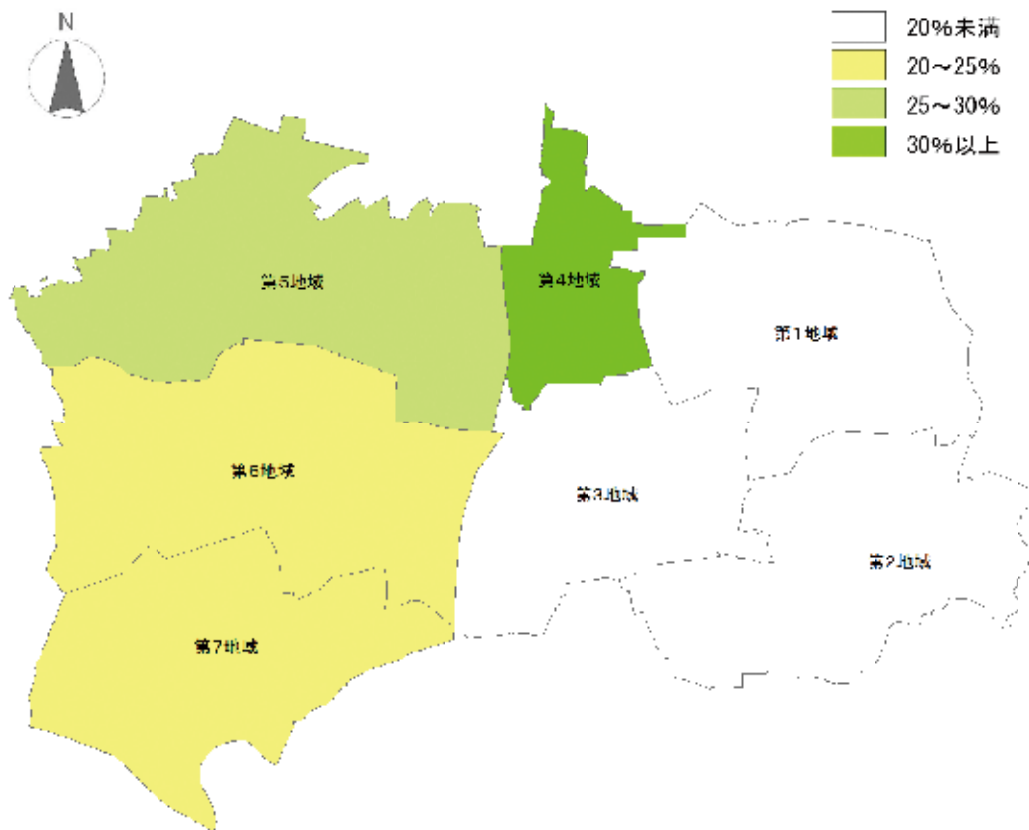


図3-15 都市計画マスタープラン地域別の緑被率

表3-4 都市計画マスタープラン地域別の緑被状況

地域	土地面積(ha)		面積(ha)				比率(%)			
	公称値	GIS面積	樹木地	草地	農地	緑被地	樹木地	草地	農地	緑被率
第1地域	686.10	691.58	92.57	17.92	20.99	131.47	13.4	2.6	3.0	19.0
第2地域	702.20	702.03	97.47	11.75	6.33	115.55	13.9	1.7	0.9	16.5
第3地域	607.20	610.62	83.83	8.89	19.76	112.48	13.7	1.5	3.2	18.4
第4地域	293.10	292.46	97.80	13.33	4.02	115.14	33.4	4.6	1.4	39.4
第5地域	919.70	919.28	132.88	22.33	83.90	239.11	14.5	2.4	9.1	26.0
第6地域	907.50	909.17	152.54	23.19	40.34	216.07	16.8	2.6	4.4	23.8
第7地域	692.20	694.15	110.29	18.54	28.09	156.92	15.9	2.7	4.0	22.6
区全体	4808.00		767.38	115.94	203.43	1086.75	16.0	2.4	4.2	22.6

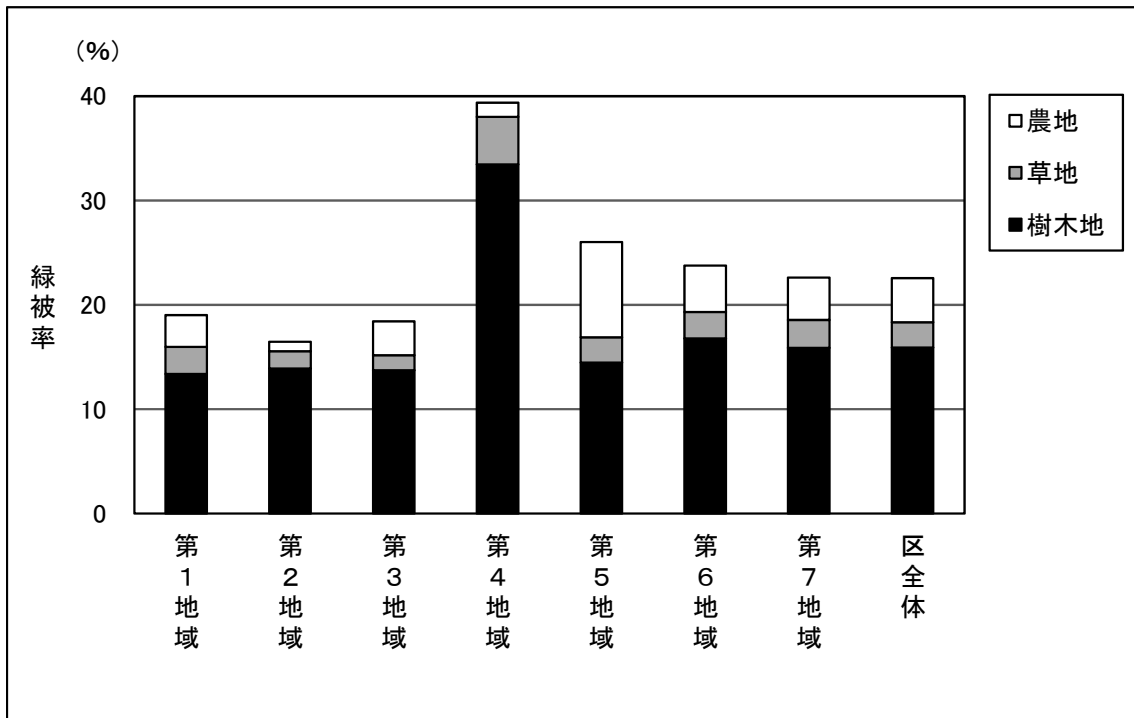


図3-16 都市計画マスタープラン地域別の緑被構成

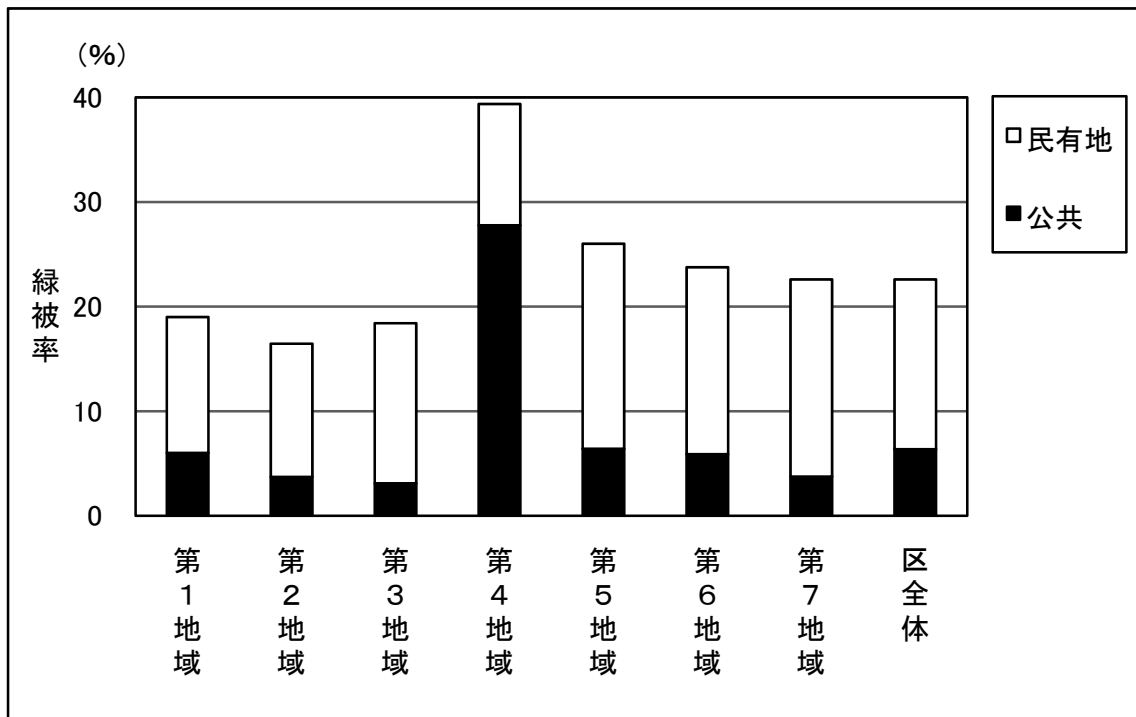


図3-17 都市計画マスタープラン地域別の緑被内訳(公共・民有地別)

(3) 土地利用区分別

「練馬区の土地利用」(平成31年)の土地利用現況図に基づく、練馬区全体の土地利用区分の構成を以下に示す。(表3-5)

また、区全体における土地利用区分の分布を図3-19に示す。

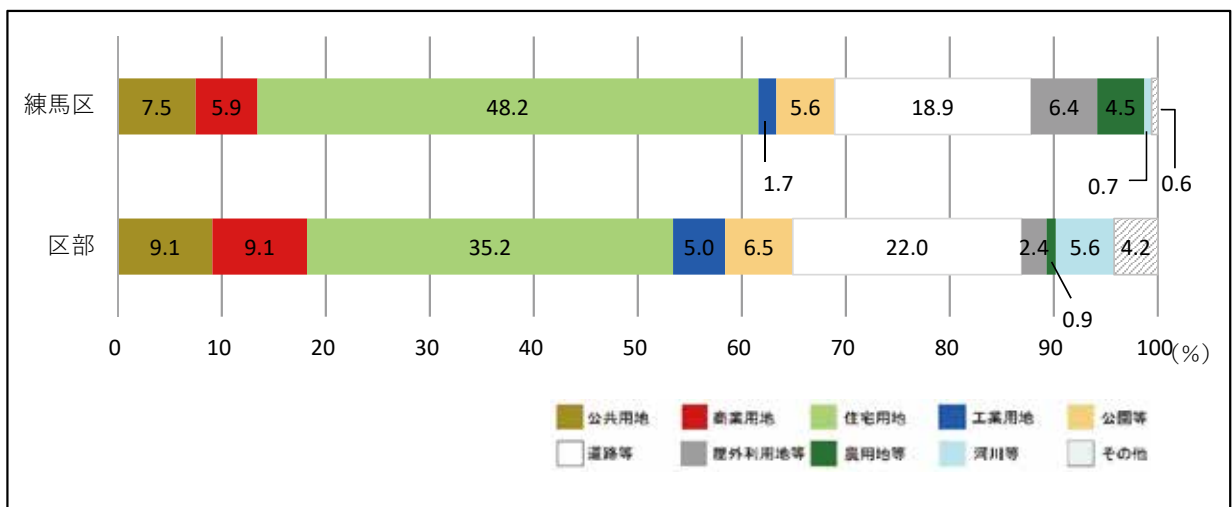
土地利用区分ごとの比率では、住宅用地(48.2%)が区の半数を占め、次いで道路等(18.9%)、公共用地(7.5%)、屋外利用地等(6.4%)、商業用地(5.9%)、公園等(5.6%)、農用地等(4.5%)が続く。工業用地(1.7%)、河川等(0.6%)の比率は小さい。

表3-5 土地利用区分の構成

土地利用区分	土地面積(ha)	比率(%)	主な施設
公共用地	361.30	7.5	官公庁施設、教育文化施設、厚生医療施設等
商業用地	286.30	5.9	商業施設、事務所建築物、宿泊・遊興施設、スポーツ・興行施設等
住宅用地	2,322.00	48.2	独立住宅、集合住宅
工業用地	82.60	1.7	専用工場、住居併用工場、倉庫運輸関係施設
公園等	270.00	5.6	公園・運動場等
道路等	909.80	18.9	道路、鉄道・港湾等
屋外利用地等	307.70	6.4	屋外利用地・仮設建物、未利用地等
農用地等	218.50	4.5	農地、農林漁業施設、採草放牧地
河川等	32.60	0.7	水面・河川・水路、森林、原野
その他	29.10	0.6	その他
区全体	4819.90※	100.0	

※「練馬区の土地利用(平成31年3月)」の数値であり、区面積4,808haとは異なる。

また、東京都区部と比較すると、練馬区では住宅用地、農用地等が多くなっている。(図3-18)



「東京の土地利用(平成28年東京都区部)」平成28年土地利用面積(区部・区別)、平成28年宅地利用比率(区別)より作成

図3-18 土地利用区分比率

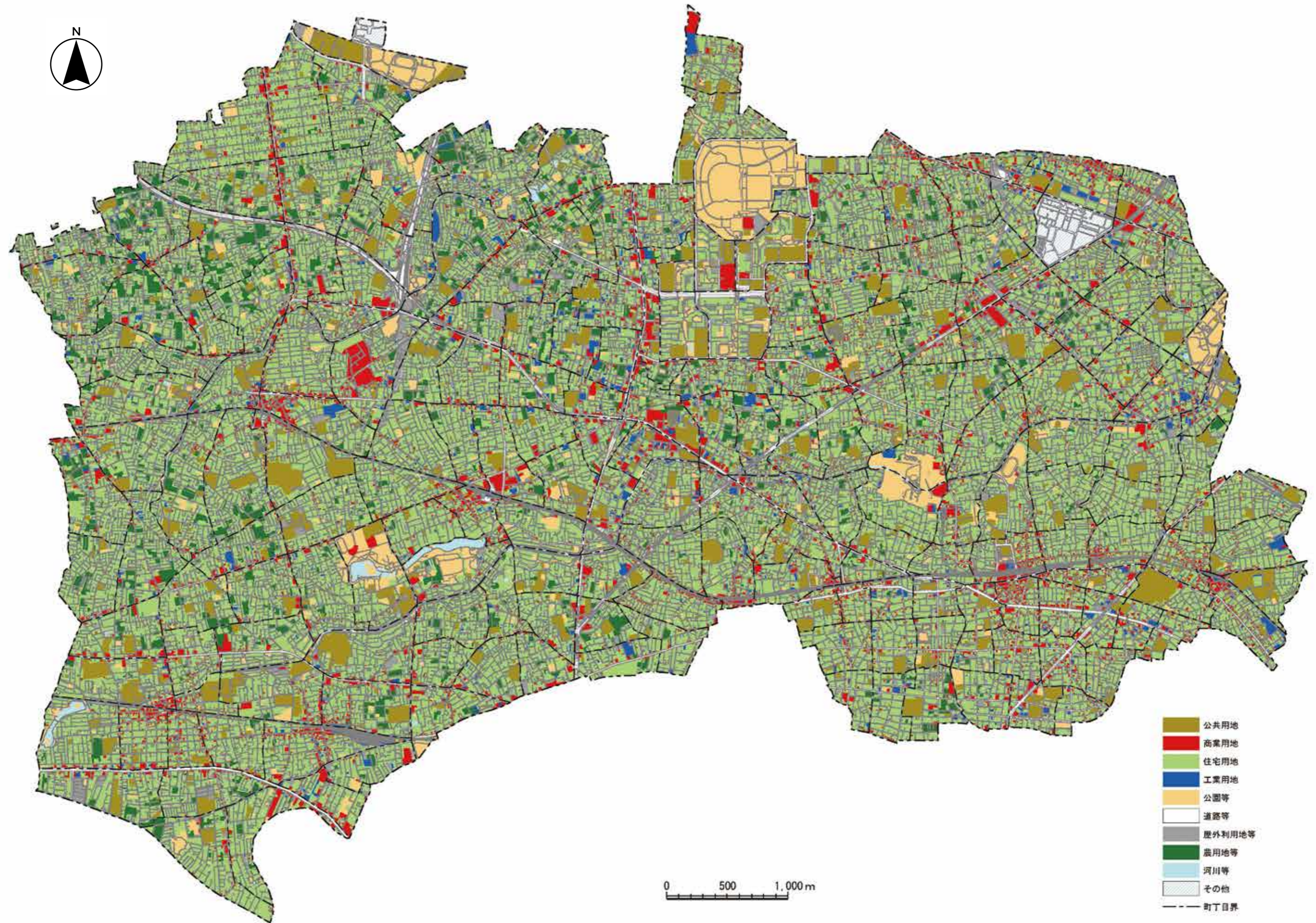


図3-19 土地利用区分図

土地利用区別の緑被状況を表3-6に、緑被構成を図3-20に示す。
農用地等の緑被率が87.1%と最も高く、次に公園等が70.4%で続く。
区の半数を占める住宅用地の緑被率は16.9%で、そのほとんどが樹木地と
なっている。商業用地(7.8%)、工業用地(7.6%)の緑被率は低い。一方、公
共用地の緑被率は27.5%で、その8割以上が樹木地によるものである。

表3-6 土地利用別の緑被状況

土地利用区分	土地面積(ha)		面積(ha)				比率(%)			
	公称値	GIS面積	樹木地	草地	農地	緑被地	樹木地	草地	農地	緑被率
公共用地	361.30	361.17	83.67	14.87	0.74	99.28	23.2	4.1	0.2	27.5
商業用地	286.30	286.15	17.72	3.86	0.80	22.37	6.2	1.3	0.3	7.8
住宅用地	2322.00	2321.75	342.96	38.18	11.70	392.85	14.8	1.6	0.5	16.9
工業用地	82.60	82.82	5.09	0.90	0.32	6.32	6.1	1.1	0.4	7.6
公園等	270.00	270.00	154.29	33.21	2.56	190.05	57.1	12.3	0.9	70.4
道路等	909.80	911.24	107.77	4.54	0.02	112.33	11.8	0.5	0.0	12.3
屋外利用地等	307.70	307.58	29.22	11.85	7.23	48.30	9.5	3.9	2.4	15.7
農用地等	218.50	218.62	8.06	2.71	179.57	190.34	3.7	1.2	82.1	87.1
河川等	32.60	30.91	10.11	1.78	0.48	12.37	32.7	5.8	1.5	40.0
その他	29.10	29.04	8.48	4.04	0.02	12.54	29.2	13.9	0.1	43.2
区全体	4819.90※	4819.29	767.38	115.94	203.43	1086.75	16.0	2.4	4.2	22.6

※「練馬区の土地利用(平成31年3月)」の数値であり、区面積4,808haとは異なる。

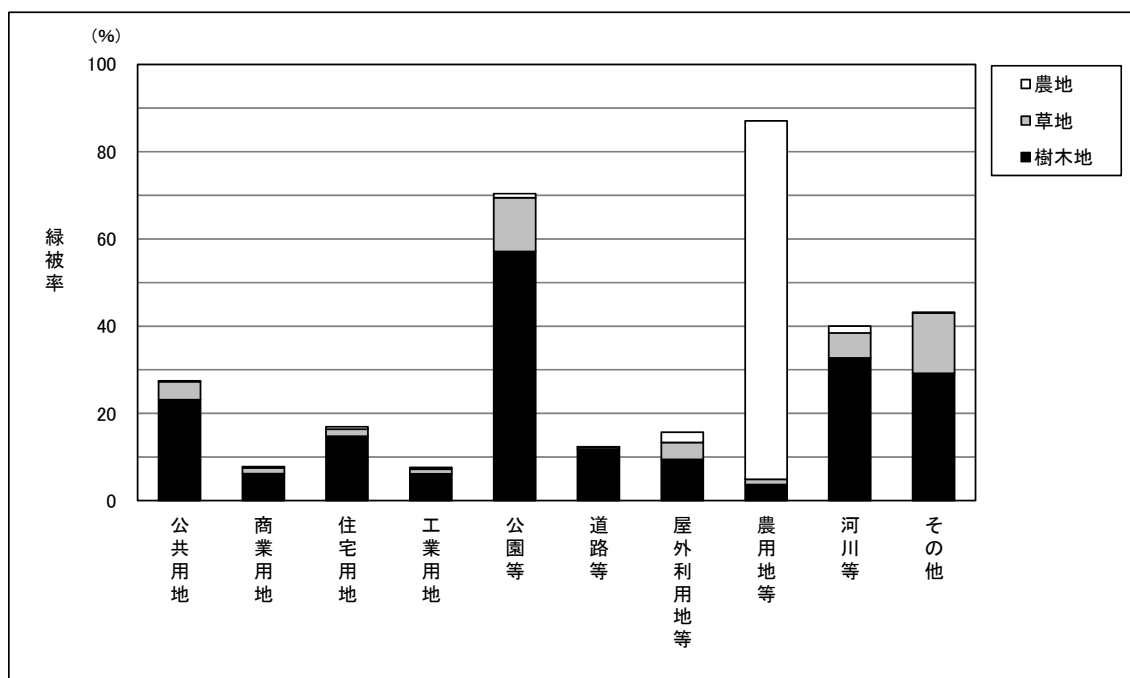


図3-20 土地利用別の緑被構成

(4) 用途地域別

練馬区全体の用途地域の構成と分布を表3-7、図3-21に示す。

住居系の用途地域が全体の約9割を占めており、なかでも、第一種低層住居専用地域が最も多く全体の約6割を占めている。

なお、区内に第二種低層住居専用地域および第二種中高層住居専用地域はない。

表 3-7 用途地域の構成

用途地域	土地面積(ha)	比率(%)
第一種低層住居専用地域	2,788.30	57.9
第一種中高層住居専用地域	821.00	17.0
第一種住居地域	527.40	11.0
第二種住居地域	60.40	1.3
準住居地域	83.60	1.7
近隣商業地域	296.70	6.2
商業地域	93.00	1.9
準工業地域	142.20	3.0
工業地域	3.40	0.1
区全体	4816.00※	100.0

※「練馬区の土地利用(平成31年3月)」の数値であり、区面積4,808haとは異なる。

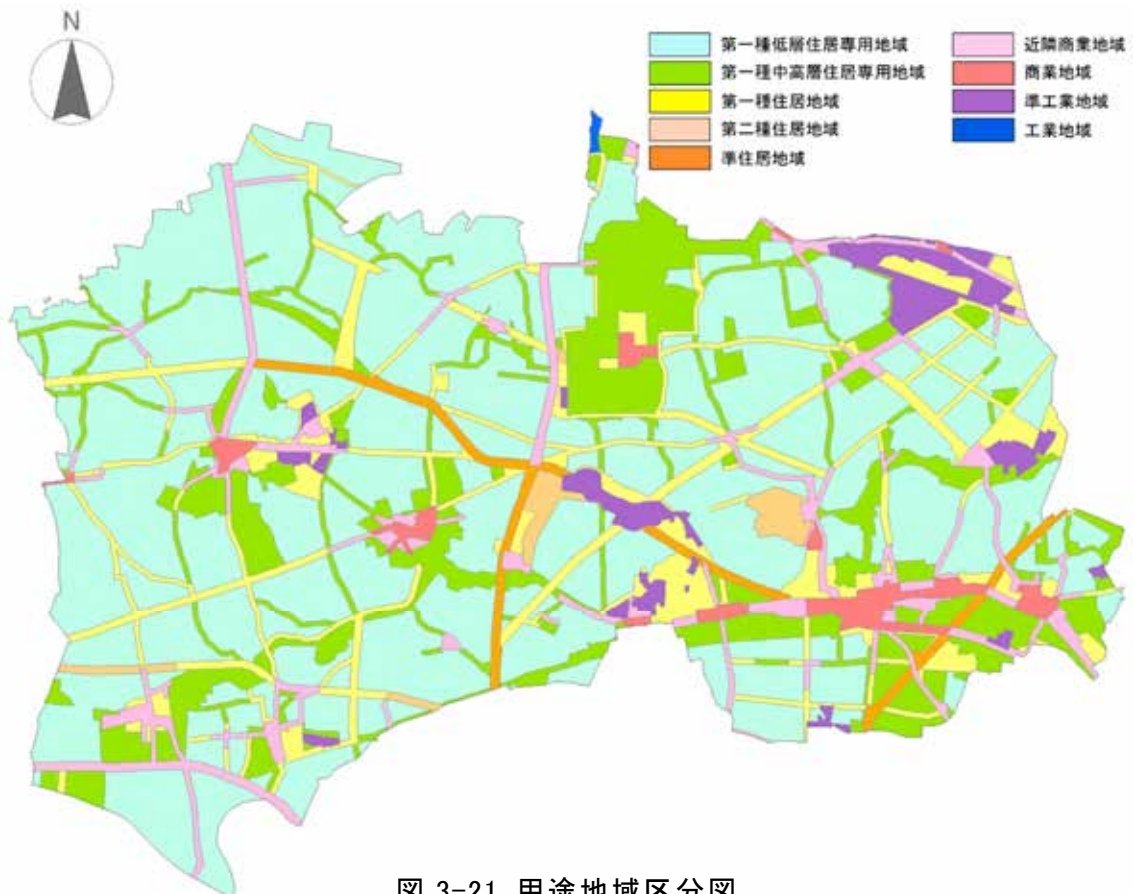


図 3-21 用途地域区分図

用途地域別の緑被状況を表3-8に、緑被構成を図3-22に示す。

第一種中高層住居専用地域の緑被率が27.6%と最も高く、第一種低層住居専用地域が24.4%と続く。第一種中高層住居専用地域では、その8割を樹木地が占めている。

商業系の商業地域(7.3%)、近隣商業地域(10.5%)の緑被率が低くなっており、次いで準住居地域(13.6%)が低くなっている。

第一種住居地域(17.4%)と第二種住居地域(18.5%)の緑被率に大きな差はなく、工業系の地域も準工業地域(17.6%)、工業地域(15.6%)と同様の傾向にあるが、準工業地域では草地の比率が高くなっている。

表3-8 用途地域別の緑被状況

用途地域	土地面積(ha)		面積(ha)				比率(%)			
	公称値	GIS面積	樹木地	草地	農地	緑被地	樹木地	草地	農地	緑被率
第一種低層住居専用地域	2788.30	2797.85	441.84	65.51	175.80	683.14	15.8	2.3	6.3	24.4
第一種中高層住居専用地域	821.00	825.22	184.50	30.85	12.43	227.77	22.4	3.7	1.5	27.6
第一種住居地域	527.40	521.67	69.93	9.28	11.32	90.53	13.4	1.8	2.2	17.4
第二種住居地域	60.40	55.37	9.68	0.39	0.19	10.26	17.5	0.7	0.3	18.5
準住居地域	83.60	83.67	9.49	0.86	0.99	11.34	11.3	1.0	1.2	13.6
近隣商業地域	296.70	297.41	26.68	2.64	2.03	31.36	9.0	0.9	0.7	10.5
商業地域	93.00	92.39	6.39	0.32	0.00	6.70	6.9	0.3	0.0	7.3
準工業地域	142.20	142.35	18.38	6.07	0.68	25.12	12.9	4.3	0.5	17.6
工業地域	3.40	3.35	0.49	0.03	0.00	0.52	14.7	0.9	0.0	15.6
区全体	4816.00※	4819.29	767.38	115.94	203.43	1086.75	16.0	2.4	4.2	22.6

※「練馬区の土地利用(平成31年3月)」の数値であり、区面積4,808haとは異なる。

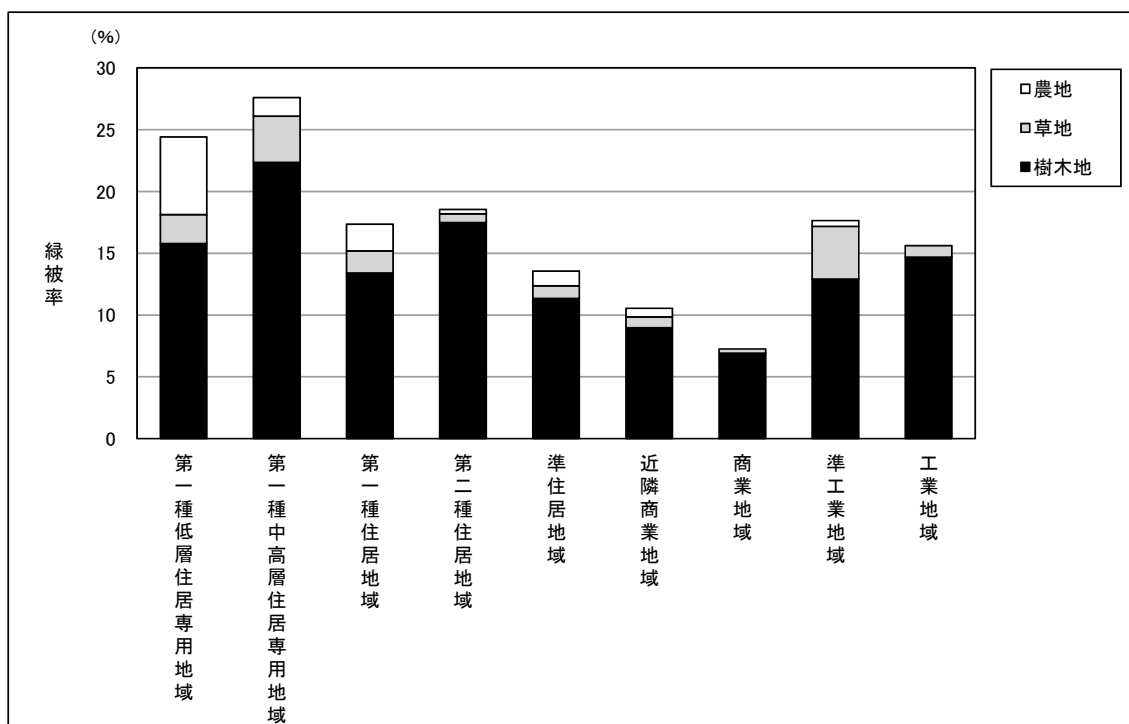


図3-22 用途地域別の緑被構成

4 都市計画道路・河川の緑被状況

(1) 都市計画道路

「練馬区みどりの総合計画」においてみどりの軸となっている都市計画道路のうち、供用されている区間の緑被率を表3-9、緑被構成を図3-23に示す。供用区間全体の緑被率は21.6%である。最も緑被率が高いのは補助線街路233号の55.5%で、主な街路樹としてケヤキが植えられている。

表3-9 都市計画道路(供用区間)の緑被率

番号	名称	通称名	供用区間	幅員 (m)	緑被率 (%)	主な樹種
1	放射街路6号	青梅街道	区内全区間	25,33	24.8	ケヤキ、イチョウ
2	放射街路7号	目白通り	豊玉北一丁目～大泉学園町一丁目	25～53	12.1	ブラタナス、カツラ、コブシ等
3	放射街路8号	川越通り	区内全区間	25	13.1	イチョウ、エンジュ
4	放射街路35号		早宮一丁目～北町五丁目	27～50	16.5	クス
5	放射街路36号	要町通り	小竹二丁目	40,50	52.2	環境施設帯
6	環状街路7号	環状7通り	区内全区間	25～33	14.2	トウカエデ、クス
7	環状街路8号	環状8通り	区内全区間	25～44.5	12.2	ケヤキ、トチ
8	補助線街路26号	中野通り	区内全区間	20	24.3	ブラタナス
9	補助線街路76号	新青梅街道	区内全区間	15	6.6	ハナミズキ
10	補助線街路132号		石神井町五丁目～石神井町二丁目	16	6.2	カワヅザクラ、コブシ
11	補助線街路133号		中村北三丁目～貫井二丁目	16	10.1	-
12	補助線街路134号	笹目通り	区内全区間	25,33	9.5	イチョウ、クス、ケヤキ等
13	補助線街路135号	大泉学園通り	東大泉一丁目～大泉学園町七丁目	15	42.1	ソメイヨシノ
14	補助線街路156号	大泉街道	東大泉二丁目～東大泉四丁目	16	16.9	ナンキンハゼ
15	補助線街路172号		早宮四丁目～高松五丁目	16～20	24.9	ソメイヨシノ、トウカエデ、ハナミズキ
16	補助線街路229号	千川通り	旭丘一丁目～中村北四丁目 富士見台一丁目～南田中一丁目 関町南一丁目～上石神井一丁目	14.5～40	28.0	ソメイヨシノ
17	補助線街路230号		光が丘三丁目～土支田三丁目	18～60	45.2	コブシ、ケヤキ
18	補助線街路232号		石神井町三丁目	16	1.8	ロードトリス
19	補助線街路233号		大泉学園町八丁目～大泉学園町九丁目	25,33	55.5	ケヤキ
20	補助線街路301号	光が丘東大通り	区内全区間	20～36	41.2	混植 (ソメイヨシノ、クス、ヤマモモ)
21	補助線街路302号	光が丘西大通り	区内全区間	20	46.7	混植 (ソメイヨシノ、クス、ヤマモモ)
22	都市高速道路外郭環状線	外環自動車道	区内全区間	64	32.5	混植(ケヤキ、ソメイヨシノ)
23	関越側道		区内全区間	-	51.5	環境施設帯

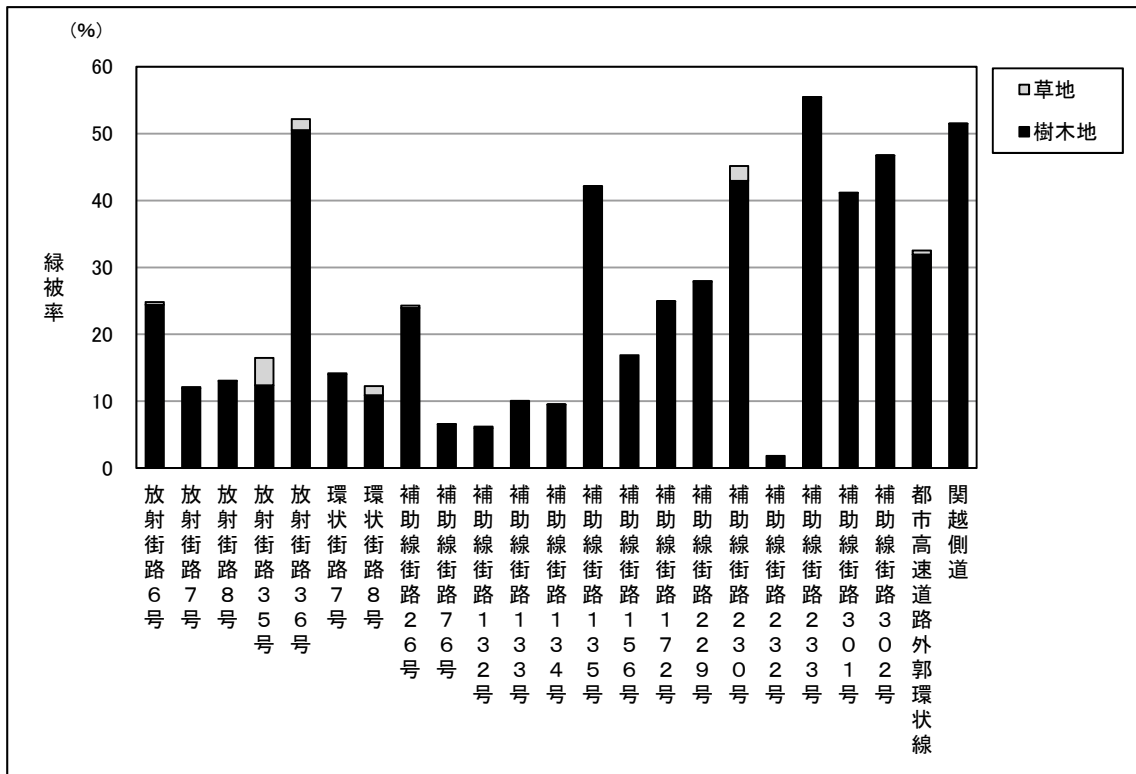


図3-23 都市計画道路(供用区間)の緑被構成

(2) 河川

区内を流れる石神井川と白子川の緑被率を表3-10、緑被構成を図3-24に示す。

緑被率は石神井川が39.3%、白子川が39.2%となっている。緑被率が最も高い区間は、石神井川では弁天橋～溜淵橋区間の74.0%、白子川では火の橋～七福橋区間の74.3%であり、いずれも公園の樹木が影響している。

表3-10 河川の緑被状況

番号	河川(区間)	改修事業	延長 (km)	緑被率 (%)	主な高木	備考
1	区境～中之橋	完了	2.84	32.2	ソメイヨシノ	
2	中之橋～石川橋	完了	0.72	47.2	—	豊島園跡地内
3	石川橋～薬師堂橋	完了	2.60	33.5	ソメイヨシノ	
4	薬師堂橋～山下橋	完了	0.87	63.9	ソメイヨシノ	緩傾斜護岸有
5	山下橋～蛭橋	完了	0.98	38.8	ソメイヨシノ	
6	蛭橋～本立寺橋	事業中	2.54	27.6	—	
7	本立寺橋～弁天橋	未了	0.42	69.0	ソメイヨシノ	
8	弁天橋～溜淵橋	未了	0.63	74.0	ソメイヨシノ	武蔵関公園内
石神井川(全体)			11.60	39.3		
1	区境～不動橋	未了	1.72	38.9	—	越後山の森緑地隣接
2	不動橋～万年橋	未了	0.57	60.9	ソメイヨシノ	
3	万年橋～弥生橋	未了	0.80	44.6	ソメイヨシノ	
4	弥生橋～御園橋	完了	1.30	39.0	ソメイヨシノ	緩傾斜護岸有
5	御園橋～一新橋	事業中	0.90	25.0	—	
6	一新橋～火の橋	未了	0.82	27.0	ソメイヨシノ	
7	火の橋～七福橋	未了	0.39	74.3	—	大泉井頭公園内
白子川(全体)			6.50	39.2		

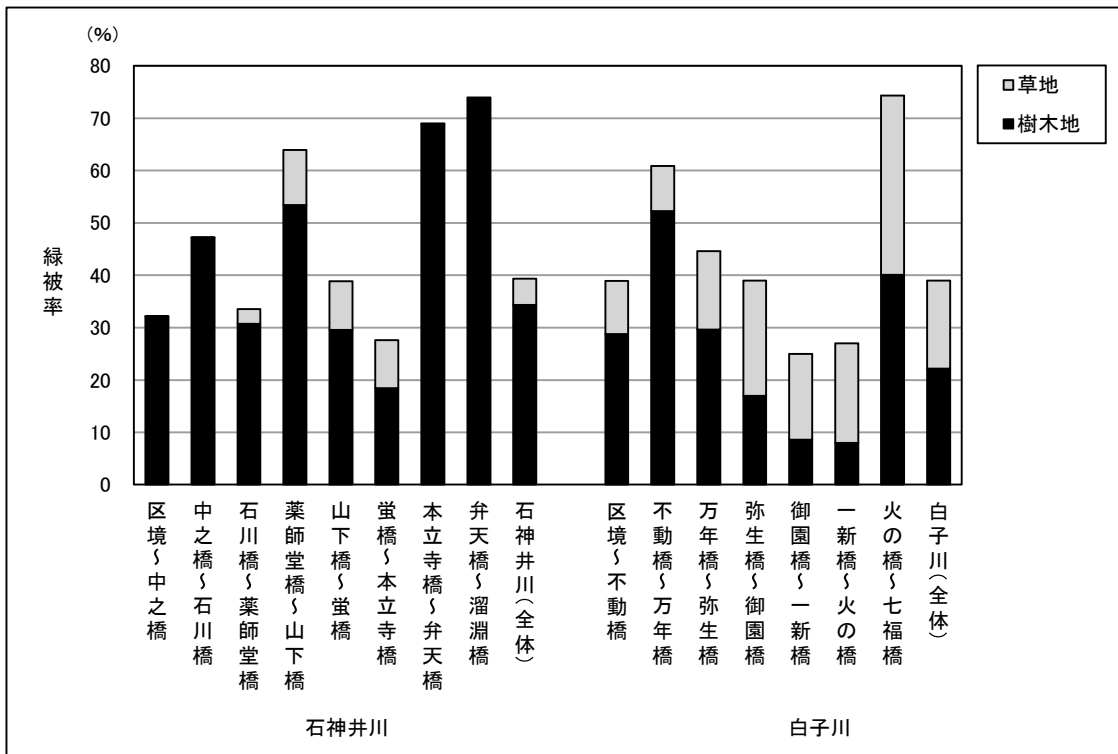


図 3-24 河川の緑被構成

5 大規模公園・区立施設の緑被状況

(1) 大規模公園

「練馬区みどりの総合計画」においてみどりの拠点となっている公園等のうち、開園している区域の緑被状況を表3-11、緑被構成を図3-25に示す。

表3-11 大規模公園(開園区域)の緑被状況

大規模公園	土地面積(ha)		面積(ha)				比率(%)			
	公称値	GIS面積	樹木地	草地	農地	緑被地	樹木地	草地	農地	緑被率
大泉中央公園群	15.69	15.68	7.58	2.89	0.00	10.47	48.3	18.5	0.0	66.8
大泉公園	1.19	1.19	1.04	0.00	0.00	1.04	87.3	0.0	0.0	87.3
西大泉こさつくばら緑地	0.74	0.73	0.18	0.44	0.00	0.62	24.2	60.3	0.0	84.4
大泉町もみじやま公園	1.75	1.76	1.23	0.40	0.00	1.63	69.6	23.0	0.0	92.6
稲荷山公園	1.24	1.17	1.04	0.01	0.00	1.05	88.9	0.6	0.0	89.4
大泉橋戸公園	1.41	1.45	0.84	0.22	0.02	1.08	57.4	14.9	1.6	74.0
びくに公園	2.19	2.12	0.22	0.83	0.00	1.05	10.2	39.4	0.0	49.6
大泉井頭公園群	0.86	0.87	0.57	0.06	0.00	0.63	66.3	6.6	0.0	73.0
石神井公園群	28.07	31.79	19.91	4.19	0.00	24.10	62.6	13.2	0.0	75.8
武蔵関公園	4.90	5.21	3.47	0.00	0.00	3.48	66.6	0.1	0.0	66.7
関町南一丁目公園	0.05	0.05	0.04	0.00	0.00	0.04	79.1	0.0	0.0	79.1
立野公園	2.19	2.18	1.29	0.66	0.00	1.95	59.1	30.1	0.0	89.2
光が丘公園群	74.74	74.65	53.23	9.58	0.04	62.85	71.3	12.8	0.1	84.2
城北中央公園群	13.49	13.71	7.77	3.88	0.05	11.70	56.7	28.3	0.4	85.4
高稲荷公園	1.30	1.27	1.07	0.02	0.00	1.10	84.2	1.9	0.0	86.1
練馬総合運動場公園	3.06	3.12	0.56	0.63	0.00	1.20	18.0	20.3	0.0	38.3
練馬城址公園	0.04	0.04	0.03	0.00	0.00	0.03	88.1	0.0	0.0	88.1
中村かしわ公園	1.47	1.49	0.71	0.51	0.00	1.22	47.5	34.3	0.0	81.8
学田公園	1.09	1.20	0.44	0.40	0.00	0.84	36.7	33.4	0.0	70.0
合計	155.45	159.69	101.21	24.74	0.12	126.07	63.4	15.5	0.1	78.9

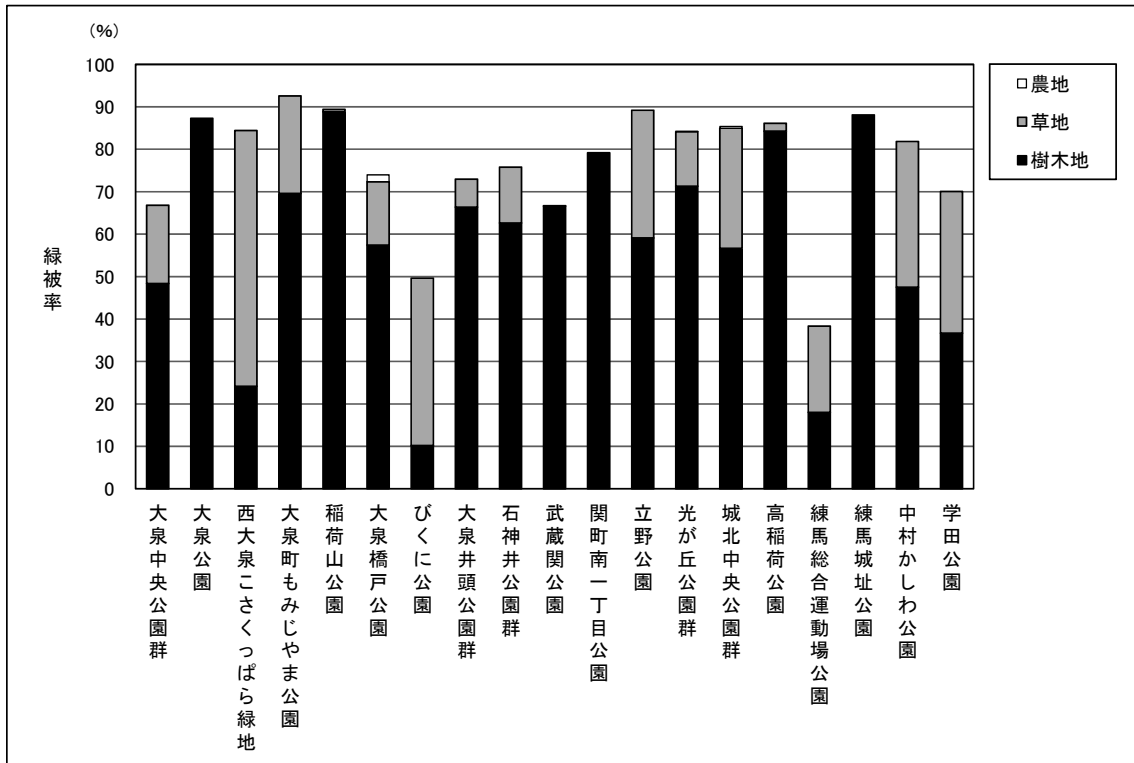


図3-25 大規模公園の緑被構成

(2) 都市公園、児童遊園、憩いの森・街かどの森

区内の都市公園等の緑被状況を表3-12、緑被構成を図3-26に示す。

樹林地を開放している「憩いの森・街かどの森」の緑被率が最も高く、100%に近い。緑被率が最も低い「児童遊園」でも約70%となっている。

表3-12 都市公園等の緑被状況

都市公園等	箇所数	土地面積(ha)	面積(ha)				比率(%)			
		GIS面積	樹林地	草地	農地	緑被地	樹林地	草地	農地	緑被率
都立公園	4	109.68	72.43	17.41	0.00	89.84	66.0	15.9	0.0	81.9
区立公園	209	82.84	50.85	9.01	0.26	60.12	61.4	10.9	0.3	72.6
区立緑地・緑道	259	14.66	10.85	1.08	0.03	11.96	74.0	7.4	0.2	81.6
児童遊園	218	8.88	5.75	0.39	0.00	6.14	64.7	4.4	0.0	69.1
憩いの森・街かどの森	45	9.87	9.05	0.65	0.00	9.70	91.7	6.6	0.0	98.2
合計	735	225.94	148.92	28.55	0.28	177.75	65.9	12.6	0.1	78.7

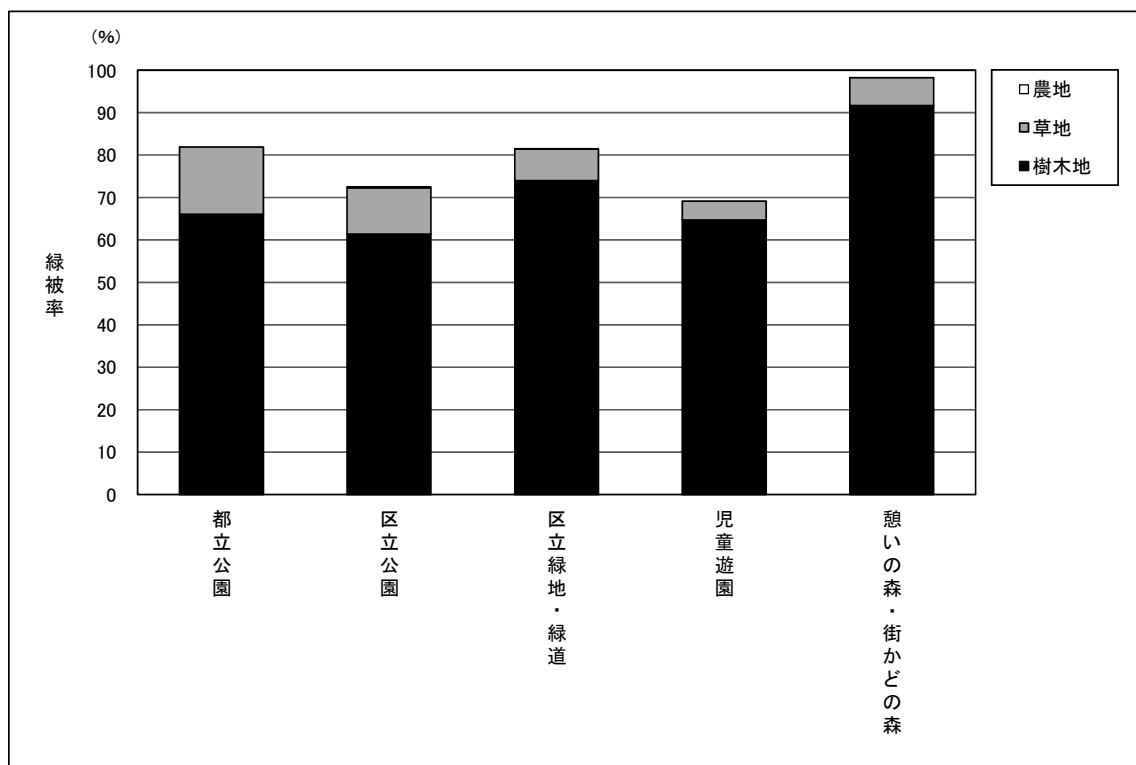


図3-26 都市公園等の緑被構成

また、区立公園の面積規模別の緑被状況を表3-13に示す。

面積規模2,500～10,000㎡未満の公園の緑被率が76.1%と最も高くなっており、それ以外の区分では大きな差はみられない。

緑被地面積では、10,000㎡以上の公園(33.97ha)が区立公園全体の5割以上を占めている。

表3-13 区立公園の規模別緑被状況

面積規模区分	箇所数	土地面積(ha)	面積(ha)	比率(%)
		GIS面積	緑被地	緑被率
10,000㎡以上	18	47.28	33.97	71.8
2,500～10,000㎡未満	40	15.73	11.97	76.1
1,000～2,500㎡未満	95	15.94	11.48	72.0
1,000㎡未満	56	3.89	2.70	69.3
合計	209	82.84	60.12	72.6

(3) 区立施設

区立施設の緑被状況を表3-14、緑被構成を図3-27に示す。

なお、独自の敷地を持たない公共施設(併設など)は集計の対象としていない。調査した区立施設(451箇所)の全体では、樹木地が39.8ha(19.1%)、草地9.3ha(4.5%)、農地5.7ha(2.7%)であり、その緑被率は26.3%になる。

緑被率を区立施設の項目別にみると、敷地のほとんどを農地が占める「区民農園」が98.4%と最も高く、次いで「公園以外の運動施設」が44.3%、「その他施設」が25.4%と続く。「公園以外の運動施設」にはグラウンド(芝地)なども含まれるため、草地の比率が樹木地より高い。

学校施設の緑被率については、「中学校」(21.4%)、「小学校」(23.2%)、「幼稚園・保育園」(22.6%)と、いずれも区全体の緑被率(22.6%)に近く、そのみどりのほとんどは樹木地が占めている。

表3-14 区立施設の緑被状況

区立施設	箇所数	土地面積(ha)	面積(ha)				比率(%)			
		GIS面積	樹木地	草地	農地	緑被地	樹木地	草地	農地	緑被率
中学校	33	52.31	10.17	0.90	0.12	11.18	19.4	1.7	0.2	21.4
小学校	65	78.66	15.30	2.63	0.28	18.21	19.5	3.3	0.4	23.2
幼稚園・保育園	32	5.42	1.12	0.10	0.00	1.22	20.7	1.9	0.0	22.6
公園以外の運動施設	12	10.02	1.43	3.01	0.00	4.44	14.3	30.0	0.0	44.3
その他施設	283	56.42	11.71	2.61	0.00	14.32	20.8	4.6	0.0	25.4
区民農園	26	5.53	0.09	0.03	5.31	5.44	1.7	0.6	96.1	98.4
合計	451	208.36	39.83	9.28	5.71	54.82	19.1	4.5	2.7	26.3

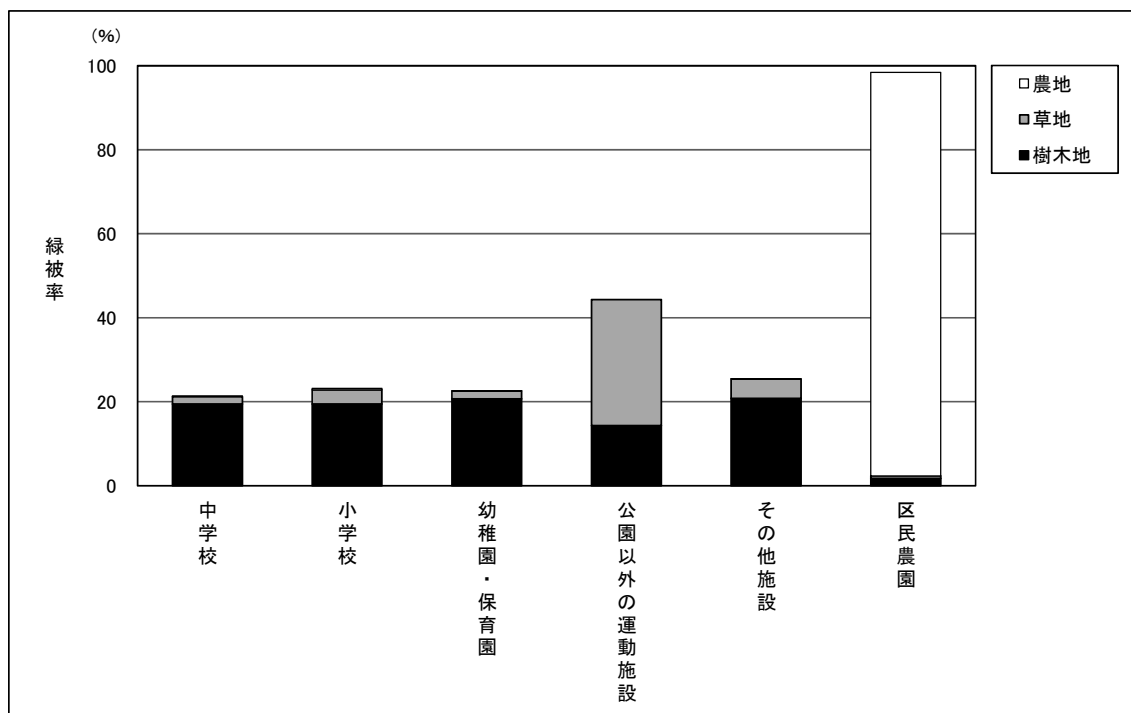


図3-27 区立施設の緑被構成

面積規模別の区立施設の緑被状況について、表3-15に示す。

区民農園を除くと、箇所数が最多の面積規模1,000～5,000㎡の施設の緑被率が25.9%と最も高く、次いで10,000㎡以上の施設が24.6%となっており、その緑被地面積は箇所数も多いことから区立施設の6割以上を占める。

表 3-15 区立施設の面積規模別緑被状況

面積規模区分	箇所数	土地面積 (ha)	面積 (ha)	比率 (%)
		GIS面積	緑被地	緑被率
10,000㎡ 以上	100	141.52	34.84	24.6
5,000～10,000㎡ 未満	23	18.55	4.03	21.7
1,000～5,000㎡ 未満	155	35.08	9.10	25.9
500～1,000㎡ 未満	79	5.83	1.12	19.2
250～500㎡ 未満	40	1.44	0.24	16.4
250㎡ 未満	28	0.41	0.04	10.3
区民農園	26	5.53	5.44	98.4
合計	451	208.36	54.82	26.3

6 前回調査との比較

(1) 町丁目別

前回調査からの緑被率の推移を表3-16、図3-28に示す。

緑被率40%以上の町丁目が1箇所(光が丘三丁目)増えているが、20%から40%の町丁目はいずれも減少し、20%未満の町丁目が20箇所増えている。

緑被率40%以上の町丁目では、大規模公園など安定したみどりを有しているため、箇所数を維持しているが、40%未満の町丁目では農地の減少や宅地開発などによる影響を受け減少したと推察される。

表3-16 緑被率別の町丁目数の増減

緑被率	町丁目数		
	平成28年	令和3年	増減
20%未満	89	109	20
20~30%	87	74	-13
30~40%	19	11	-8
40%以上	7	8	1
合計	202	202	0

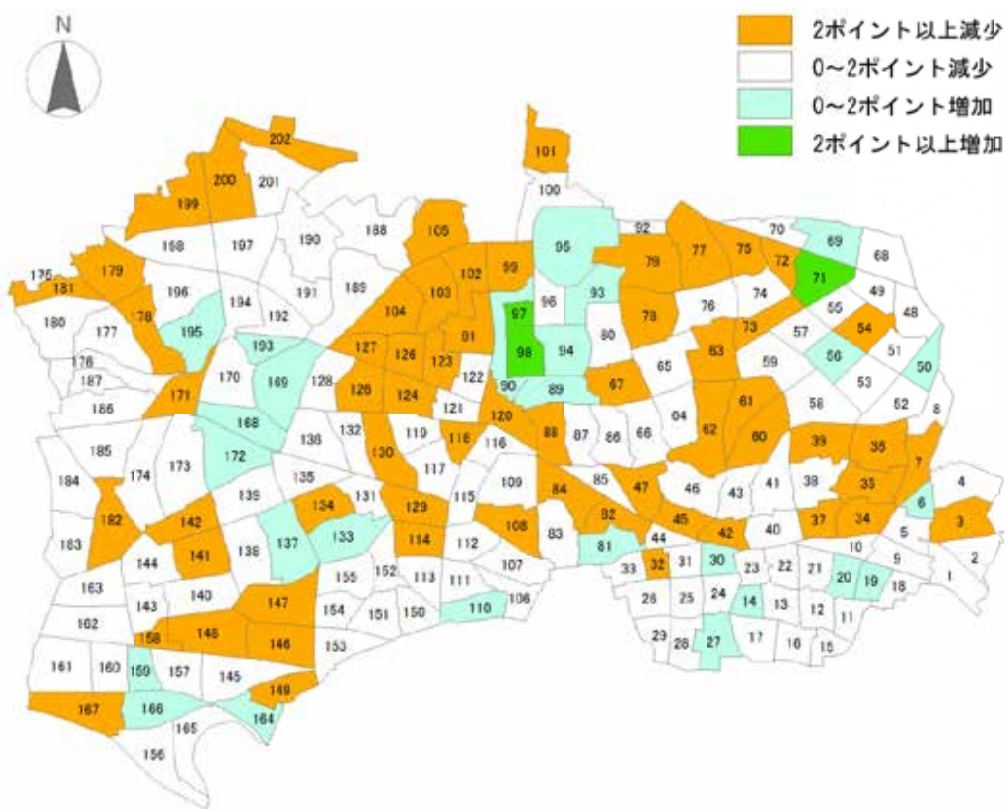


図3-28 町丁目別の緑被率の推移状況

前回調査から緑被面積が増加した町丁目（上位10位）の緑被状況と内訳（公共・民有地別）の推移を表3-17、図3-29に示す。

表3-17 緑被面積が増加した町丁目（上位10位）の緑被状況の推移

番号	町丁目 名称	面積(ha)			比率(%)											
		平成28年		増減	平成28年				令和3年				増減(ポイント)			
		緑被地	緑被地		樹木地	草地	農地	緑被率	樹木地	草地	農地	緑被率	樹木地	草地	農地	緑被率
71	北町四丁目	8.49	9.65	+1.16	23.1	11.1	0.0	34.3	25.3	13.7	0.0	38.9	2.1	2.5	0.0	4.7
94	光が丘三丁目	10.91	11.42	+0.52	35.4	3.0	0.0	38.3	37.5	2.6	0.0	40.1	2.1	-0.3	0.0	1.8
98	光が丘七丁目	8.29	8.74	+0.45	38.7	1.6	0.0	40.3	41.0	1.5	0.0	42.5	2.3	-0.1	0.0	2.2
169	東大泉二丁目	6.43	6.73	+0.30	9.2	4.4	1.6	15.2	11.4	3.6	0.9	15.9	2.2	-0.9	-0.6	0.7
172	東大泉五丁目	8.03	8.32	+0.29	18.3	4.6	0.1	23.0	19.7	4.0	0.2	23.8	1.4	-0.6	0.0	0.8
164	関町南一丁目	3.15	3.41	+0.26	15.9	1.0	1.3	18.2	14.5	3.8	1.4	19.7	-1.4	2.7	0.1	1.5
168	東大泉一丁目	4.98	5.21	+0.23	15.0	2.0	1.5	18.5	16.0	2.1	1.3	19.3	1.0	0.1	-0.3	0.9
93	光が丘二丁目	8.25	8.42	+0.18	29.6	4.2	0.2	33.9	30.6	3.9	0.2	34.6	1.0	-0.3	0.0	0.7
97	光が丘六丁目	3.14	3.29	+0.15	40.3	1.5	0.0	41.8	42.3	1.5	0.0	43.8	2.0	0.1	0.0	2.0
19	豊玉北二丁目	1.76	1.91	+0.14	13.3	1.4	0.0	14.7	14.2	1.7	0.0	15.9	0.9	0.3	0.0	1.2

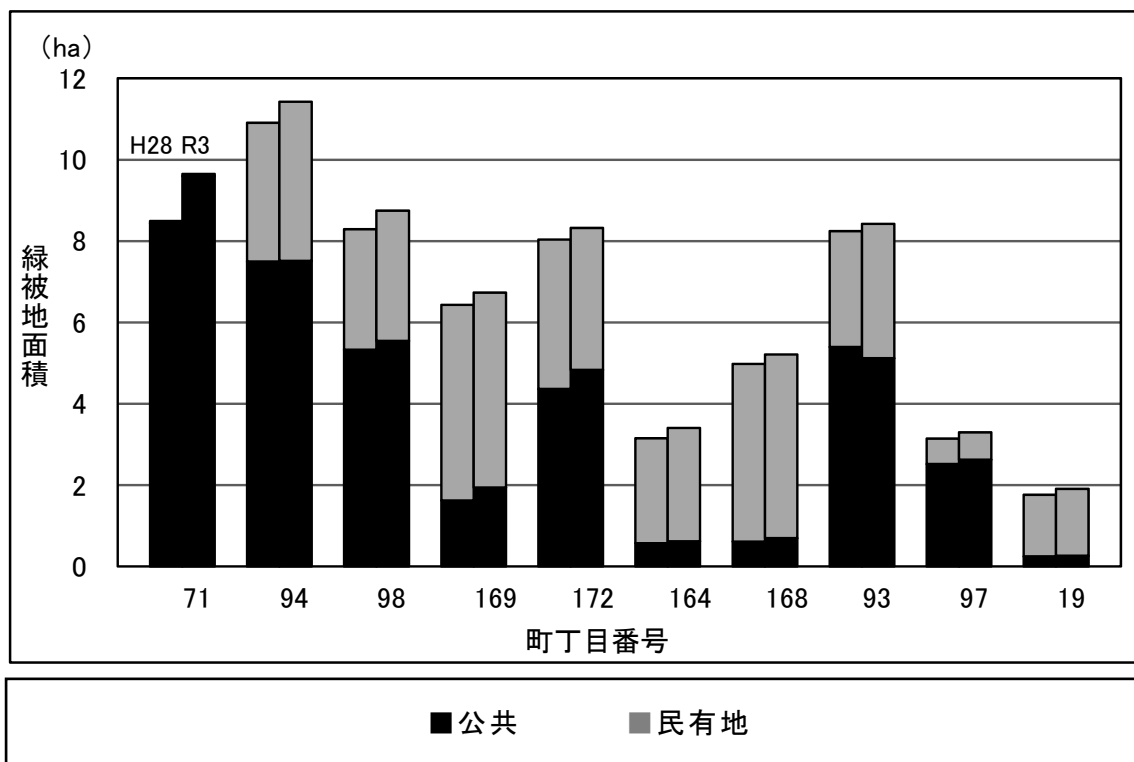


図3-29 緑被面積が増加した町丁目（上位10位）の内訳（公共・民有地別）の推移

前回調査から緑被面積が減少した町丁目（上位10位）の緑被状況と内訳（公共・民有地別）の推移を表3-18、図3-30に示す。

表3-18 緑被面積が減少した町丁目（上位10位）の緑被状況の推移

番号	町丁目 名称	面積 (ha)		増減	比率 (%)								増減 (ポイント)			
		平成28年	令和3年		平成28年				令和3年				増減 (ポイント)			
		緑被地			樹木地	草地	農地	緑被率	樹木地	草地	農地	緑被率	樹木地	草地	農地	緑被率
62	春日町一丁目	10.44	6.78	-3.67	21.9	0.7	3.7	26.3	14.3	0.8	2.0	17.1	-7.7	0.1	-1.7	-9.2
147	上石神井三丁目	9.38	7.26	-2.12	20.2	3.8	1.8	25.9	15.9	2.2	1.9	20.0	-4.3	-1.6	0.1	-5.9
202	大泉学園町九丁目	20.56	18.81	-1.75	46.9	15.1	0.0	62.0	42.2	14.5	0.0	56.7	-4.7	-0.6	0.0	-5.3
67	春日町六丁目	6.48	4.73	-1.74	15.7	1.4	9.1	26.2	11.8	1.3	6.0	19.1	-3.9	-0.1	-3.1	-7.1
103	土支田二丁目	9.53	8.11	-1.42	11.6	2.9	17.9	32.4	11.8	2.0	13.8	27.6	0.2	-0.9	-4.1	-4.8
167	関町南四丁目	9.61	8.26	-1.36	19.3	1.7	7.6	28.6	15.5	1.3	7.7	24.6	-3.7	-0.5	0.2	-4.0
148	上石神井四丁目	10.06	8.75	-1.31	23.4	4.1	0.7	28.2	18.7	5.2	0.7	24.6	-4.7	1.1	-0.1	-3.7
199	大泉学園町六丁目	10.59	9.35	-1.24	22.2	2.1	0.5	24.8	19.6	2.0	0.3	21.9	-2.5	-0.2	-0.2	-2.9
200	大泉学園町七丁目	8.98	7.77	-1.21	18.7	1.8	1.9	22.3	16.4	1.6	1.3	19.3	-2.3	-0.1	-0.6	-3.0
124	谷原五丁目	5.80	4.60	-1.21	12.6	3.2	9.6	25.4	12.4	1.1	6.6	20.1	-0.2	-2.1	-3.0	-5.3

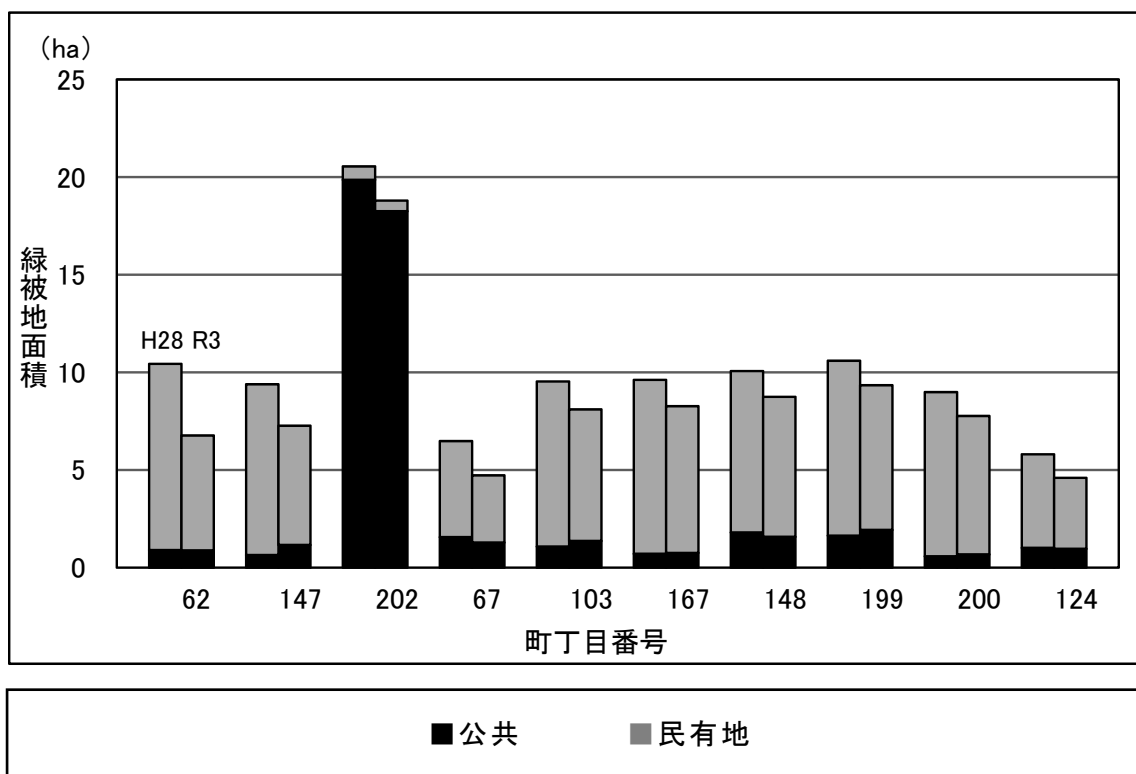


図 3-30 緑被面積が減少した町丁目（上位 10 位）の内訳（公共・民有地別）の推移

(2) 都市計画マスタープランの地域別

地域別の前回調査からの緑被状況と内訳(公共・民有地別)の推移を表3-19、図3-31に示す。

全ての地域で緑被率は減少傾向にあり、なかでも「第3地域」、「第5地域」で2ポイントを超える減少となっており、特に「第5地域」では農地の影響(-1.0ポイント)が大きい。

表3-19 都市計画マスタープラン地域別の緑被状況の推移

地域	比率(%)								増減(ポイント)			
	平成28年				令和3年				樹木地	草地	農地	緑被率
	樹木地	草地	農地	緑被率	樹木地	草地	農地	緑被率				
第1地域	13.6	3.3	3.5	20.4	13.4	2.6	3.0	19.0	-0.2	-0.7	-0.4	-1.4
第2地域	14.9	1.8	0.9	17.6	13.9	1.7	0.9	16.5	-1.0	-0.1	0.0	-1.1
第3地域	15.6	1.3	3.8	20.6	13.7	1.5	3.2	18.4	-1.9	0.2	-0.5	-2.2
第4地域	33.2	5.1	1.4	39.8	33.4	4.6	1.4	39.4	0.2	-0.6	-0.1	-0.4
第5地域	15.1	2.8	10.1	28.0	14.5	2.4	9.1	26.0	-0.6	-0.4	-1.0	-2.0
第6地域	17.2	2.9	4.9	25.0	16.8	2.6	4.4	23.8	-0.4	-0.3	-0.5	-1.2
第7地域	17.6	2.2	4.4	24.2	15.9	2.7	4.0	22.6	-1.8	0.5	-0.3	-1.6
区全体	16.8	2.6	4.7	24.1	16.0	2.4	4.2	22.6	-0.8	-0.2	-0.5	-1.5

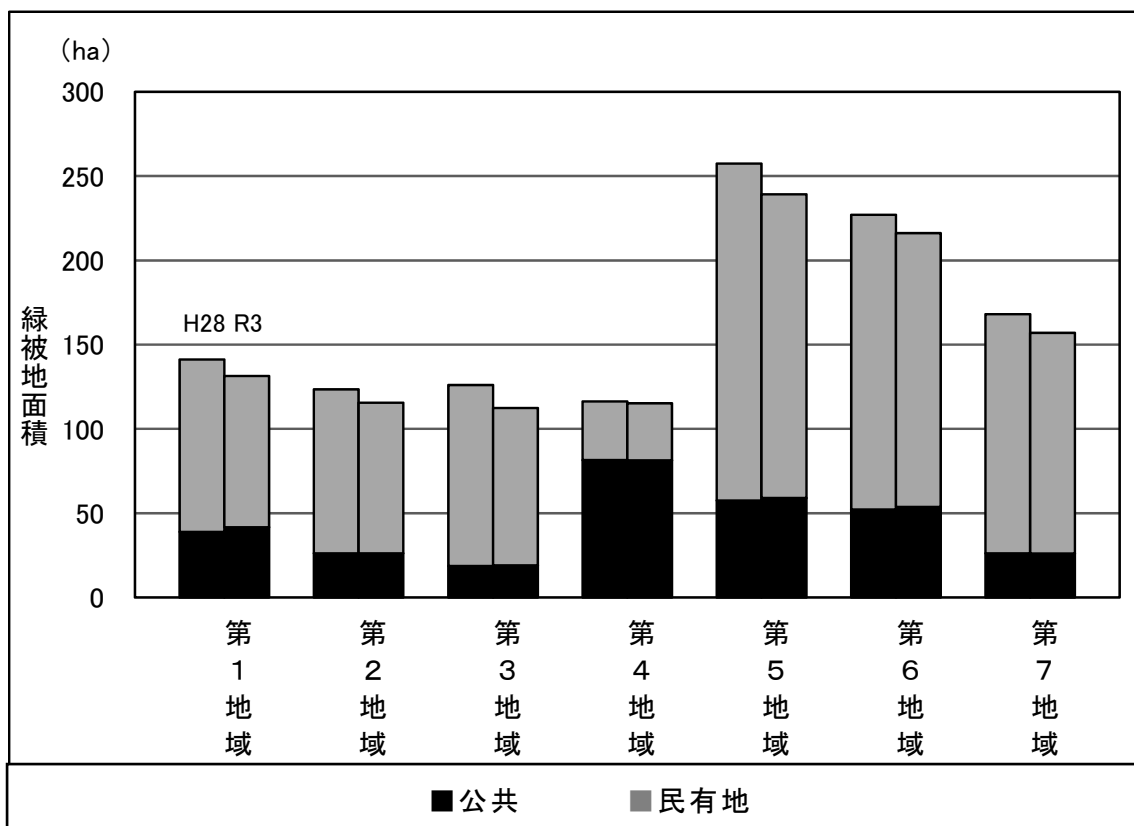


図3-31 都市計画マスタープラン地域別の内訳(公共・民有地別)の推移

(3) 土地利用調査別

土地利用別の前回調査からの緑被状況の推移を表3-20に示す。

「その他」を除く全ての区分で緑被率は減少傾向にあり、なかでも「農用地等」において最も大きい減少(-8.4ポイント)となる。

区の敷地の約半数を占める「住宅用地」では、緑被面積が約35ha減少しており、緑被率も1.5ポイントの減少がみられた。

「屋外利用地等」(-3.7ポイント)、「河川等」(-3.1ポイント)も比較的大きな減少となっているが、「河川等」および増加した「その他」については、それぞれ区に占める敷地の割合が1%未満の区域のため、その影響は限定的である。

表3-20 土地利用別の緑被状況の推移

土地利用区分	面積(ha)			比率(%)		
	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減
公共用地	99.62	99.28	-0.35	27.6	27.5	-0.1
商業用地	24.20	22.37	-1.82	8.5	7.8	-0.6
住宅用地	427.84	392.85	-34.99	18.4	16.9	-1.5
工業用地	6.88	6.32	-0.57	8.3	7.6	-0.7
公園等	190.80	190.05	-0.75	70.7	70.4	-0.3
道路等	116.27	112.33	-3.94	12.8	12.3	-0.4
屋外利用地等	59.73	48.30	-11.43	19.4	15.7	-3.7
農用地等	208.79	190.34	-18.45	95.5	87.1	-8.4
河川等	13.34	12.37	-0.97	43.1	40.0	-3.1
その他	12.13	12.54	0.41	41.8	43.2	1.4
区全体	1159.60	1086.75	-72.85	24.1	22.6	-1.5